

Ver. 1. 01

# 管理者マニュアル

# 評価項目管理編

2013年3月



# 有限会社 アルファ・アソシエイツ



# 目次

1.	本資料の目的	3
2.	団体の概念とセッションの概念	4
3.	管理パスワードによるログイン	5
4.	FM評価の2つの評価軸	6
5.	インフラ評価項目メンテナンス	7
6.	建物評価項目メンテナンス	21
7.	詳細説明PDFアップロード	35
8.	詳細説明PDF削除	42
9.	結び	47

# 1. 本資料の目的

管理者のみが使用できるFM評価システムの機能のうち、評価項目管理機能を明示し、 利用の仕方をご説明し、実際に管理業務で活用していただくことを、目的とします。 データ管理に関しては、管理者マニュアル データ管理編 をご参照ください。

**FM評価システム**は、企業・団体のFM活動の実態を総合的に診断評価し、問題点を切り出すための、診断評価システムです。

評価の開始前に、新しいセッションを作成し評価環境を整える必要があります。 これらの諸設定を管理者権限で行います。

この資料では、評価項目体系の登録・メンテナンスの方法をご説明します。

なお、管理者権限でログインすれば、ビジター・評価者権限でログインしたときのすべ ての機能を使用できますが、本マニュアルでは、管理者のみ実行できることを中心に、 ご説明します。ビジター・評価者権限で実行できる機能については、評価マニュアルを ご参照ください。

註:権限の種類

本システムの権限の種類は、以下の通りです。

- ビジター : 本システムにログインして統計参照が出来る。
- 評価者 : 本システムにログインして、統計参照とともに、評価の入力ができる。

管理者: 評価者権限に加えて、管理・環境設定が出来る

権限は、ログインパスワードにより、区別されます。

これらのパスワードも、管理者により設定・管理されます。

# 2. 団体の概念とセッションの概念

# 団体の概念

FM評価システムは、1システムで、複数の企業・団体のFM評価をサポートします。 そ れぞれの団体は、多数の建物を管轄し、数年ごとに何回ものFM診断評価を行います。 評 価項目体系も、JFMES 11 に準拠しながらも、独自の評価項目を必要とするかもしれませ ん。 FM評価システムでは、一つの企業・団体の全FM評価を「団体」の概念でまとめ、 団体 ID・パスワードで区別します。

## セッションの概念

FM評価システムは、企業・団体のFM評価を長期にわたってサポートします。 FM評価 は、一度行えば終わりではありません。2~3年ごとに、繰り返し行うことで、その間のF M施策の効果測定を行い、次の計画につなげます。 FM評価システムでは、全建物に対す るある時期の1回の評価をまとめたものを、セッションといいます。

このようにセッション同士の間には、時間の経過がありますので、当然、新しい建物、追加 したい評価項目など、評価環境の変化が起こります。 FM評価システムでは、セッション ごとに、評価項目体系・FM基盤(インフラ)・建物の登録、評価値などを、独立に維持し ますので、こうした変化に対応できます。セッションの新設、セッション実施環境の設定に は、管理者権限を使用します。

管理者権限による主要な設定項目は、以下の通りです。

- a. セッションの新規作成・更新、複製。
- b. 団体定数・セッション定数の調整
- c. エリア(地域エリア)の登録・更新
- **d**. インフラ(FM基盤)の登録・更新
- e. 建物の登録・更新
- f. その他便利な機能の調整
- g. 評価項目体系の登録・更新
- h. 評価項目詳細説明 PD Fのアップロード

これらを、FM評価システムに、管理者パスワードを使用してログインすることにより、実行します。

本マニュアルでは、g.,h. の機能のご説明をいたします。a. ~ f. の機能に関しては、管理者 マニュアル データ管理編 をご参照ください。

# 3. 管理パスワードによるログイン

- ① 管理機能を使用するには、インターネットアクセス可能なPCで、ブラウザを起動し、 FM評価システムのサイトにアクセスします。
- ② ログイン画面で、団体 I D と、管理者のパスワードを入力し、ログインボタンを押します。

FM Evaluat	ion System	
	国際ローバカケードを入力してログインボタンを得ってください。	
	EDRID prev	
	rtat7¥	
(		キャンセル

③ セッション選択ページが出ます。操作対象のセッションを選択します。新しいセッションを作成する場合も、既存のいずれかのセッションを選択してください。トップページへ移動します。。



④ トップページが出ます。管理操作もこのページが起点になります。



# 4. FM評価の2つの評価軸

FM評価システムは、2つの評価軸により評価を行います。2つの評価軸とは、インフラ(FM基盤)評価と建物(ファシリティ)評価の2つです。

#### インフラ(FM基盤)評価

インフラ評価は、企業・団体のファシリティマネジメントの体制面に焦点を当てた評価 体系です。トップのFMリーダーシップの在り方、FM組織・人材、情報管理、財務な ど、FMを遂行していくうえで必要な企業・団体の体制を評価します。

#### 建物(ファシリティ)評価

建物評価は、企業・団体のファシリティマネジメントの対象となっている個々の建物 (ファシリティ)に焦点を当てた評価体系です。建物の信頼性・安全性、快適性・生産 性、耐用性・保全性、環境性能、品格・社会性、など、個々の建物の性能面を評価しま す。

いずれの評価体系も、JFMES 11 の評価体系を標準としてセットしてありますが、企業・ 団体の実情に合わせ、評価項目の追加・内容更新・削除 を行い、専用の評価体系を作 成し、評価に使用することができます。

本マニュアルでは、評価体系のカストマイズの仕方をご説明いたします。

A ttps://www.alph.	오 - 🔒 🗟 Ċ 🗙 🔏 FM評価トッ	ップページ	×	1 ★ \$
× Google			▼       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★        ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★       ★	ログイン 🌺
FM Evaluation S	System DサイNについて 複数建物統計	一副新田道!	目管理 データ管理	
評価トップページ 参照または入力するファシリティの通 セッションの対象建物が建物ドロップ インフラのみ選択したい場合は、イン	単択を行います。 9ダウンリストに表示されていますので、 ノフラの選択をご使用ください。	対象の建物をこ	選択ください。運物を選択すると、インフラは自動的に選択されます。	
建物の選択: 2号館設計棟	<ul> <li>インプライ</li> </ul>	の選択: FM基	整評価オフィス系	ヨン変更へ
選択対象	選択されたセッション: 2012年	プレビュー評価	セッション	
FM基盤評価オフィス系	インフラ評価参照・入力	選択したイ	ンフラの各評価項目の参照、および評価値の入力を行います。	
2号館設計棟	建物評価参照・入力	選択した建	物の各評価項目の参照、および評価値の入力を行います。	
FM基盤評価オフィス系			2号館設計棟	
評価値 標準値			■ 評価値	
評価平均値: 2.89 15 f	HB HB HB	制 組織 人材	FI 储衡t 호 含 性 FI 储衡t 호 含 性	) 「2 快通性・生産性 用性・保全性
FMボジションチャート 5 ・ 評価値			総合評価コメント 建物ファシリティの品質は標準よりやや盛れているが、FM基盤は	標準よめやや
4			第っている	
基盤評価値:2.89 <u>増</u> 匙			シラフのPat,Excel出力	_
建物評価値: 3.21 5 3				
総合評価値: 3.05 長 製				
2				

# 5. インフラ評価項目メンテナンス

インフラ評価は、企業・団体のファシリティマネジメントの体制面に焦点を当てた評価 体系です。JFMES11では、160の末端評価項目があり、かつ、小項目・中項目・大項 目・総合の4階層に集計される評価項目体系として構成されています。 本システムでは、評価項目の追加・更新・削除だけでなく、階層構造の変更もできるよ うになっています。(集計値に影響を与える変更を行った場合は、全インフラの評価集 計再実行が必要となります。5.10をご参照ください。) ここでは、インフラ評価項目の登録・更新・削除の仕方をご説明します。

5.1 インフラ評価項目メンテナンスページの表示

インフラ評価項目メンテナンスページは、以下の手順で表示します。

上部メニューの評価項目管理をクリックし、インフラ評価項目メンテナンスをクリックします。

	vw.alph	C FM評価トップ	ページ ×		-	
× Google				▼ 🛂 検索 ▼	👯 共有 詳細 »	ログイン 🔧 🔹
FM Evaluat	ion System					*
評価トップページへ	このサイトについて	複数建物統計	評価項目管理	データ管理		
評価トップページ 参照または入力するファント セッションの対象建物が建 インフラのみ選択したい場合	リティの選択を行います。 物ドロップダウンリストに表示 合は、インフラの選択をご使り	されていますので、対話 目ください。	インプラ評価項目 建物評価項目へ 詳細説明PDFアッ	メンテナンス テナンス ウロード 尺する	ると、インフラは自動的に説	釐択されます。
建物の選択: ○早館部計:	======================================	- インフラの選	和: 「「」、本書の「平/王	トコップ あ		

インフラ評価項目メンテナンスページが表示されます。

左側のベインに評価項目体系がツリー構造で表示されています。個々の評価項目を クリックすることで、選択することができます。右側のベインは、選択された評価 項目の内容を編集する画面です。デフォルトではインフラ評価総合項目(集計項 目)が表示されています。

FM Evaluation System				
評価トップページへ このサイトについて 複数	副物統計 評価項目管理 データ管理			
詳師項目の20-表示 原開 1 2 3 開 日 1 トックの行動 上の項目 強快項目 ■ 1(-2-25)評価総合	詳価項目大テナンス 対象:2012年サノカル評価セッシュン 更折の場合、左のジンヒューヤル3項目をご選択ください 対象項目の場合、選択肢の編集を可能です。新規入力の 入力フォールが表示されます。	●該当の項目を編集できます。違択され、項目が入力 り場合は、新規作成プジオポジンを選択する「新価項目 ● 更新 ● 新規作成 ● 削除		
□ I1リーダーシップ □ I1-1 経営理念に基づいたFMのリーダーシッ	評価項目設定内容			
<ul> <li>ブ</li> <li>□ II-1-1 FMの経営理念とビジョン</li> <li>戦略</li> <li>1経営者におけるFMの理念</li> </ul>	評価項目ID: 10000 項目表示コード: I			
2 経営者のFMに対するビジョン・戦 略 I1-1-2 FM業務サイクル(PDCA)への取	項目名: インフラ評価総合	*		
□ 組 ■ 1 FM戦略におけるPDCAの実践	項目説明: インフラ評価の総合値			
2 ブロジェクト管理におけるPDCAの 実践 3 中長期実行計画におけるPDCAの 実践	回答項目かどうか: 集計項目	E		
<ul> <li>4 FM評価におけるPDCAの実践</li> <li>B I1-1-3 目標管理への取組</li> </ul>	重み係数: 1.0000			
1財務に関する目標管理	表示順No: 0			
<ul> <li>2 品質に関する目標管理</li> <li>3 供給に関する目標管理</li> </ul>	項目名英文:	÷		
回 II-1-4 知的生産性への取組 1 知的生産性向上への取組 2 知的創造性への取組	相目説明英文:	÷		
□ 11-2 コーポレイト・ガバナンス(CG)への取 組. □ 11-2-1 FM業務活動の方向付	1-7-7支評価総合	更新を実行する		
1コーボレイト・ガバナンス(OS)の視 点 2日本版SOX法に至ういた+Mの内 部統制システムへの組込	項目の新規追加・剤除・ツリー構造の変更を行った場合 ンフラの評価集計再実行を行ってください。	、最後に全イ 全インフラの評価集計研実行		
日 I1-2-2 情報開示への取組 1 情報開示の視点 日 I1-3 社会的書任(CSR)への考試				
■ I1-3-1 CSRへの取組 ■ 1 CSRの視点				
2 CSRIC関すT担当組織の設置		•		

## 5.2 インフラ回答入力項目と集計項目、ツリー構造の定義

評価項目には、ツリー構造末端の、直接評価値を入力する**回答入力項目**と、傘下の評価項 目の集計値を保持する**集計項目**の2種類があります。左側ベインの評価項目ツリーの末端 で、黒い■がついている項目が回答入力項目です。回答入力項目以外の項目が集計項目で す。項目ツリー構造には、以下のルールがあります。

評価項目ツリールール

- 1. 全ての回答入力項目は必ずツリー構造の末端である必要があり、かつ、いずれかの集 計項目の傘下につく必要があります。
- 2. インフラ総合項目以外のすべての集計項目も、いずれかの他の集計項目の傘下につく 必要があります。

その結果、評価項目の全体は、インフラ総合項目を頂点とし、回答入力項目を末端とした ツリー構造となります。

- 特に、JFMES11型の評価項目体系の場合は、3つ目のルールがあります。
- 3. 回答入力項目はすべて、インフラ評価総合項目を0段目として数えて、4段目の階層 に位置する必要があります。

下の図は、回答入力項目の一つ「経営者におけるFMの理念」を選択表示したところで す。右側ベインの評価項目設定内容の中の"回答項目かどうか"の選択肢が「回答入力 項目」となっており、"上位集計項目"の選択肢が、「・・・II-1-1 FMの経営理念と ビジョン・戦略」となっています。この項目は、左側の評価項目ツリーでみると、「経営 者におけるFMの理念」の上位項目であることがわかります。

このように、個々の評価項目の"上位集計項目"を適切に設定することで、ツリー構造が 定義されています。

🧲 🕣 🧭 https://www.alph 🔎 - 🔒 🗟 C 🗙 <i>溪</i> F	- M基盤評価項目メンテナ ×	<b>- □ </b>
× Google	▼ 🦓 検索 ▼ 🥁 共有 詳細 ≫	ログイン 🌺 🔹
FM Evaluation System		Í
評価トップページへ このサイトについて 複数	奴建物統計 評価項目管理 データ管理	
<b>詳価項目のツリー表示</b> 原開 1 2 3 開 一 ↑ トップの移動 上の項目 潜択項目 ■ 11 リーダーシップ - 11-1 経営理念に差づいたFMのリーグーシッ ■	評価項目 んテナンス 対象: 2012年サンプル評価セッション 更新の場合、左のツリービューから項目をご選択ください。該当の項目を編集できます。選択 対象項目の場合、選択肢の編集も可能です。新規入力の場合は、新規作成ラジオボタンを選 入力フォームが表示されます。 ④ 項目の編集 ① 選択肢の編集 ④ 更新 ① 新規作成 ①	された項目が入力 択すると評価項目 )削除
□ II-1-1 FMの経営理念とビジョン・戦略 ■ 1経営者におけるFMの理念 - 2 経営者のFMに対するビジョン・戦	評価項目設定内容 評価項目ID: 11111 項目表示コード: 1	
II-1-2 FM業務サイクル (PDCA) への取 4	項目名: 経営者における F Mの理念	÷
<ul> <li>■ 1 FM戦略におけるPDCAの実践</li> <li>2 ブロジェクト管理におけるPDCAの 実践</li> </ul>	項目説明:	× +
■ 3 甲長期実行計画におけるPDCAの 実践	回答項目かどか: 回答入力項目 💌	
<ul> <li>4 FM評価におけるPDCAの実践</li> <li>I1-1-3 目標管理への取組</li> <li>1 財務に関する目標管理</li> <li>2 品質に関する目標管理</li> <li>2 品質に関する目標管理</li> </ul>	上述東行項目:     ・     ・     11-1-1 FMの経営理念とビジョン・戦略       重み係数:     10000       表示順No:     100	
	项目名英义:	
■ 1 知時注産11日」たくの収組 ■ 2 知時創造性への取組 ■ 11-2 コーポレイト・ガバナンス(CG)への取 組.	項目説明英文:	
□ I1-2-1 FM業務活動の方向付 1コーポレイト・ガバナンス(CG)の視	1 経営者におけるFMの理念 更新を3	見行する
<sup>21</sup> 2日本版SOX法に基づいたFMの内 部統制システムへの組込 □ I1-2-2 情報開示への取組	項目の新規追加・削除・ツリー構造の変更を行った場合、最後に全イ ンプラの評価集計再定行を行ってください。 全インフラの評価	福集計再実行
<ul> <li>1情報開示の視点</li> <li>□ II-3 社会的責任(CSR)への貢献</li> <li>□ II-3-1 CSRへの取組</li> <li>■ 1 CSRの視点</li> <li>● 2 CSRの視聴されい(切供の約, 第)</li> </ul>		
<ul> <li>2 CSRに関9る担当組織の設置     </li> <li></li> </ul>		

#### 5.3 インフラ回答入力項目の選択肢の編集画面

項目ツリーで回答入力項目を選択すると、右側ベインの評価項目設定内容の上に、項目の編集と選択肢の編集を選択できるラジオボタンが表示されます。

1. 項目の編集は、評価項目自身を追加・更新・削除する場合に使用します。

2. **選択肢の編集**は、その評価項目の選択肢を追加・更新・削除する場合に使用します。 評価項目を新設した場合、その選択肢はデフォルト内容で自動作成されますので、その 後、必ず選択肢を適切に更新してセットする必要があります。

	「「「「「「「」」、「」」			
X Google	「「空盗計画項ロメン」」、	··· ▲		
			107.E	
FM Evaluation System				
評価トップページへ このサイトについて 複	数建物統計 評価項	目管理 データ管理		
評価項目のツリー表示	評価項目火・テナンス 対象・2012年サン	プロ 三原語-Parity and a		
	更新の場合、左のツリー	ンジョーから項目をご選択ください。該当の項目を編集できます。 時の酒店と可能です。新知り、1の得会し、新知你はもごすざい	選択された項目が入力 大潮却ナネレ評価項目	
■ 1 インフラ評価総合	人力フォームが表示され	○ Weight collette	2 CHERTY SICHTIMPED	
■ I1リーダーシップ I1-1 総合理会に基づいたEMのリーガージャッド	●項目の病来	<ul> <li>○ 直打(1)(0)/納来</li> <li>● 更新 ○ 新規作</li> </ul>	成 🔘 削除	
U T WEI 生活(生活) (1000) ブラクリ ブラ ロ1-1-1 FMの経営理念とビジョン・影響	評価項目設定内容			項目の編集画面
1経営者におけるFMの理念     2経営者のFNJに対するどいで、単	運動項目ID: 項目表示コード:	11111		
11-1-2 FM業務サイクル (PDCA) への取	項目名:	- 経営者における F Mの理念	*	
□ 組 ■ 1 FM戦略におけるPDCAの実践	項目説明:			
■ 2 プロジェクト管理におけるPDCAの 実践			- E	
3 中長期実行計画におけるPDCAの 実践	回答項目かどうか:	回答入力項目 ▼		
■ 4+ Ma+1mic のけるPUCAの実践 ■ I1-1-3 目標管理への取組	上位集計項目: 重み係数:	<ul> <li>・ ・ I1-1-1 FMの経営理念とビジョン・戦略</li> <li>1.0000</li> </ul>		
<ul> <li>■ 1 財務に関する目標管理</li> <li>■ 2 品質に関する目標管理</li> </ul>	表示順No:	100		
<ul> <li>■ 3 供給に関する目標管理</li> <li>□ I1-1-4 知的生産性への取組</li> </ul>	項目名英文:		<u>^</u>	
■ 1 知的生産性向上への取組 ■ 1 知的生産性向上への取組	項目説明英文:		*	
<ul> <li>2 知時間短程への取組</li> <li>I1-2 コーボレイト・ガバナンス(CG)への取</li> </ul>			w	
#1. G I1-2-1 FM業務活動の方向付 1.2.5.4% いたいだいたいス(00)の相	1 叙誉-教\$\}-\$BM/	na m	転大家行する	
<ul> <li>13 - ハレイドカバリンス(CG)の役 点</li> <li>2日本版SOX法に基づいたFMの内</li> </ul>	項目の新規追加を削除	いりー構造の変更な行った提合 最後に 全イ	WI-C#611910	
<ul> <li>部統制システムへの組込</li> <li>□ I1-2-2 情報開示への取組</li> </ul>	ンプラの評価集計再実	行を行ってください。 全インフラ	の評価集計再実行	
■ 1 情報開示の視点 ■ 11-3 社会的責任(CSR)への貢献			-	
□ I1-3-1 CSRへの取組		← ④  Ø https://www.alph  P +  B & C ×  Ø	FM基盤評価項目メンテナ ×	
<ul> <li>■ 1 CSRの視点</li> <li>■ 2 CSRに関する担当組織の設置</li> </ul>		× Google		<ul> <li></li></ul>
		FM Evaluation System		Î.
		評価トップページへ このサイトについて 複	数建物统计 副新闻目答:	20 - 二)、、27257月
			CORPORT HIM AND D.	*I 7 - 2 B*I
		評価項目のパリー表示	評価項目をノテナンス	1 9°264
		評価項目のツリー表示 展開 1 2 3 開 閉 ↓ ↑	評価項目大・テナンス 対象: 2012年サンプル書 更新の場合、左のツリービュー	ユー ノーンビュ 平衡ビッション - から項目を記録代代売い、該合の項目を編集できます。選択会れた項目が入力
		評価項目のツリー表示 展開 1 2 3 開 目 ↓ ↑ トップの移動 上の項目 選択項目	評価項目た、テナンス 対象:2012年サンプル書 更新の場合、左のツリービュー 対象項目の場合、選択技の編 入力フセームが表示されます	2 リインモ2 <b>宇宙とシシェン</b> から項目をご選択ください。該当の項目を編集できます。選択された項目が入力 <u>間本も可能です。新規</u> 入力の場合は、新規で成ウジオホタンを選択すると評価項目
		<b>評価項目のワリー表示</b> 原時 1 2 3 開 間 1 1 トッウの移動 上の項目 選択項目 ロイソフラ評価総合 日1リーダーシップ	評価項目を、デナンス 対象:2012年サンラル書 更新の場合、なのツルービュー 対象項目の場合、選択技の編 入力フォームがあ示されます の項目の編集 ® 選	
		評価項目のツリー表示 原用 1 2 3 限 間 ( ( ) トッウの移動 上の項目 選択項目 ◎ I インフラ評価総合 ◎ I リーグーシップ ◎ 1-1 社営理念に苦づいたFMのリーグーシップ ◎ 1	評価項目たテナンス 対象: 2012年サンプルラ 更新の場合、左のツルビュー 対象項目の場合、選択使の編 入力フェンが表示されます 項目の編集 の 選 1 経営者におけるFMの理念	
			計画項目たテナンス 対象: 2012年サンプル表 更新の場合、左のツルービュー 対象項目の場合、通知技会編 入力フェーバーズの研究でします ・ 項目の編集 ® 通 1 経営者におけるFMの理念 選択動内容の詳細	
		#### 1 2 3 開 間 : *     hップの移動 上の項目 選択項目     i 1 / ングラ評価総合     i 1 / ングラ評価総合     i 1 / ングラ評価総合     i 1 / ジョンッグ     i 1 : 経営理念: 若式、パテMのリーダーシッグ     i 1 : 経営理念: どうコン・戦略     · 1 経営電流におけるEMの理念     2 経営者のFMにだけるをどうコン・戦略     e	評価項目たテナンス 対象: 2012年ウェクル章 更新の場合、左のツリービュー 対象項目の場合、温祉行政の スカフェーが感受されます 項目の編集 ● 進 1 経営者におけるFMの理念 選び取り行の詳細 フレード 1	2 アンモ2 <b>FACtory at</b> から項目をご選択ください。該曲の項目を編集できます。選択された項目が入力 置 <u>ま可能です。新規</u> 入力の場合は、新規作成ウジオポタンを選択すると評価項目 の更新 の新規作成 創除 更新 愛新を実行する 選択該No: 1
		####1000/U-表示     原用 1 2 3 開 間 : 1     トップの移動 上の項目 強比項目     Iインフラ評価総合     E 11/-フラ評価総合     E 11/-フラ評価総合     E 11/-フラ評価総合     E 11/-2 FMの位置電気とジョン・戦略     15空電気とジョン・戦略     15空電気とジョン・戦略     E 1512 FM 実務フィクル (PDCA) への取     if 1 = 15 FM 実務フィクル (PDCA) への取     if 1 = 15 FM 実務フィクル (PDCA) への取	評価項目たテナンス 対急:2012年ウ・フル系 更新の場合、左のツリービュ・ 対策項目の場合、進和校辺小 入力フェッルが変受社:ます 項目の場象:◎ 進 1 経営者:むけるFMのの単空 選択内許(2) 選択内許(2) 進択ャカ音: FMO)	
		#YAMED 2010-表示     原用 1 2 3 開 間 : 1     トップの移動 上の項目 選択項目     I 1/-フラ評価総合     I 1/-フラ評価総合     I 1/-レインラ評価総合     I 1/-レインラ評価総合     I 1/-レインラ評価総合     I 1/-レインラ評価にあけるたいの理念     A 経営者のFMLに対するとジョン・戦略     A 経営者のFMLに対するとジョン・戦略     I 活営者のFMLに対するとジョン・戦略     I 1/-LYFN業務サイクル(PDCA)への取     I 1/-N戦略にあけるFDCAの実践     2 プロジェン・影響にあけるFDCAの実践     2 プロジェン・影響にあけるFDCAの実践     変形	<b>評価項目たテナンス</b> 対象:2012年ウンプル高 軍所の場合、在のツレビュー 対象項目の場合、進が抜い端 人力フェンが表示だそれます 項目の編集 の 差: 1 経営者におけるFMの現金 <b>選び的?店の話様</b> フレード 1 道訳内容高 欠:	
		#YBM18070/表示     原用 1 2 3 周 周 ( )     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・    ・	<b>評価項目たクナンス</b> 対象: 2012年ウンブルネ 更新の場合、弦かツービュ、 対象項目の場合、選択技い調 人力フォン・研究でそれます 可目の編集 ● 第: 1 経営者におけるFMの9里23 選択内容: FMの9 選択内容: FMの9 選択内容: FMの9 選択内容: 1 0000	
		####18070/-表示     原所 1 2 3 間 間 ( ) ( )     中     中     中     中     中     市     1 2 3 間 間 ( ) ( )     中     市     市     1 2 3 間 間 ( ) ( )     市     市     1 1 2 3 1 間     市     市     1 1 2 3 1 間     市     1 1 2 3 1 間     市     1 1 2 3 1 間     市     1 1 1 2 3 1 間     市     1 1 1 2 3 1 間     市     1 1 1 2 3 1 見着     市     1 1 1 2 3 1 見着     1 1 1 2 3 1 見着     1 1 1 2 1 用     1 1 1 1 1 所     1 1 1 2 1 1 月前     1 1 1 2 1 1 1 月前     1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	評価項目たテナンス 対策:2012年ウンプル表 更所の場合、在のツレービュ があっ耳の場合、温和性の頃 オルフロ・体があったれます 「夏の歳罪 ● 量 1 経営者におけるFMの理念 選切た的で容がすの高料類 クレード 1 選択の容潔文: 選択の容潔文: 選択の容潔文: 選択の容潔文: 選択の容潔文: 選択の容潔文: 2.1000000000000000000000000000000000000	Yword2       Yintho y a 2          ・から項目をご説照べたみ、該後の項目を編集できます。選択された項目が入力 語志可能です。新規へ力の場合は、新規作成のジオオタンを選択すると評価項目 ・更新 の新規作成 の 創除           ・更新 の新規作成 の 創除           ・夏新 の 新規作成 の 創除           ・夏新 を実行する           ・夏赤小脑No: 1           ・資       ・通択肢No: 2
湿切時の約	三年面石	####1807/U-表示     原用 1 2 3 開 間 : *     トップの移動 上の項目 選択項目      I インフラ評価総合     II リーダーシップ     II-11 経営理念とどうコン・戦略     111 経営理念とどうコン・戦略     111 経営業にあたるたいの理念     21 経営者のFMに対するどション・戦略     II FMU戦略にあけるをPDCAの実践     21 FMU戦略におけるPDCAの実験     0 手規模能行動にあけるPDCAの実験     0 手規模に動けるPDCAの実験     0 手規模に割けるPDCAの実験     I FMU野価にあけるPDCAの実験     I FMU野価にあけるPDCAの実験     I FMU野価にあけるPDCAの実験     I FMU野価にあけるPDCAの実験     I FMU野価にあけるPDCAの実験     I FMU野価にありるPDCAの実験	評価項目なテナンス         がま、2012年ウンプル電         がいのした。なのツレービュ         がっす用の場合、ネロシリービュ         がいののした。         メオトののした         ・         ・         ・	
選択肢の編	幕集画面	####180%9/-*表示     原用 1 2 3 開 間 : *     トップの移動 上の項目 選択項目     ・ 1 インフラ評価総合     : 1 1 リーダーンップ     ・ 1 1 経営理念とどうコン・戦略     ・ 1 社営電にあけるたいの理念     ・ 2 経営者のFMICITするとどうコン・戦略     ・ 1 社営電にあけるたいの理念     ・ 2 目1-1 日 所の経営理念とどうコン・戦略     ・ 1 1 手が戦略にあけるPDCAの実践     ・ 2 「日・1 2 ド州戦争にあけるPDCAの実践     ・ 3 中美男家(行動にあけるPDCAの実践     ・ 1 FM戦争にあけるPDCAの実践     ・ 1 FM戦争に対する目標管理     ・ 3 供給に関する目標管理     ・ 3 供給に関する目標管理     ・ 3 供給に関する目標管理	評価項目欠分で23     「対策:2012年ウンプル帯     対策:2012年ウンプル帯     更所の場合、在のツレービュ     パルドの     パルド     パルドの     パルドの     パルド     パルド     パルド     パルド     パルド     パルド     パル	
選択肢の編	幕軍面	評価項目のツリー表示           原用         1         2         3         開         1         1           トップの移動         上の項目         選択項目         3         日         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1 <th>評価項目たテナンス 対策:2012年サンプル率 対策:2012年サンプル率 更新の場合、在のツレービュ パーパーの場合、法別社交流 入力フェー・パーボーズ沿きの 、別社交流 スカフェー・パーボーズ目の 調理 クレード1 道訳内容: 単次、野汁恒: 10000 フード2 通訳内容会: ・・・・ 違訳の容素: ・・・・ 違訳の容素: ・・・・ 違訳の容素: ・・・・ ・ ・・・・ ・・・・・ ・・・・・ ・・・・・・ ・・・・・・・</th> <th>・</th>	評価項目たテナンス 対策:2012年サンプル率 対策:2012年サンプル率 更新の場合、在のツレービュ パーパーの場合、法別社交流 入力フェー・パーボーズ沿きの 、別社交流 スカフェー・パーボーズ目の 調理 クレード1 道訳内容: 単次、野汁恒: 10000 フード2 通訳内容会: ・・・・ 違訳の容素: ・・・・ 違訳の容素: ・・・・ 違訳の容素: ・・・・ ・ ・・・・ ・・・・・ ・・・・・ ・・・・・・ ・・・・・・・	・
選択肢の線	幕集画面	####140000-**##     ##############################	<b>評価項目 た デナンス</b> 対象: 2012年ウンブルネ 更新の場合、 2012年ウンブルネ 対象: 項目の場合、 通知技い調 人力フォン・が高いでそれます 通知内容:	
選択肢の編	幕重面	####14079J-+表示     原所 1 2 3 開 間 : 1     hyゴクの移動 上の項目 潮比項目     i 11/-グランジブ     i 11-11 指型理念法であいる理念     i 11/-グランジブ     i 11-11 指型理念法であいの型念     i 14/2 理念法であいる更念     i 14/2 目からの下がにあり、の取     i 14/2 目からの下がにあり、の取     i 14/2 目からの下がにあり、の取     i 11-12 目標管理念の取組     i 1月初に関する目標管理     i 2 品類に関する目標管理     i 2 品類に関する目標管理     i 3 加算法目標で見たいの取組     i 1001生産性かの取組     i 1001生産性かの取組     i 1001生産性かの取組     i 1001生産性かの取組     i 1001生産性かの取組     i 1001生産性小の取組     i 1001生産性小の取組     i 1001生産性小の取組     i 1001生産性かの取組     i 1001生産性小の取組     i 1001生産性小の取組     i 1001生産性かの取組	評価項目 た ク ナンス  対象: 2012年ウンブルネ  対象: 2012年ウンブルネ  更所の場合、 盗のツレーン。  注意現在の場合、 進州在の調  ブレード 1  違訳内容: FM0:  違訳内容: FM0:  違訳内容:  違訳方容: FM0:	
選択肢の線	幕重面	####16070/-表示     原所 1 2 3 間 間 ( ) ( )     中プの移動 上の項目 選択項目     「1インフラ評価総合     「11-12階型泡に苦いるたいの理念     「注着空間におけるたいの理念     「注音空におったたいの理念     「注音空におったたいの理念     「注音空におったたいの理念     「注音空におったたいの理念     「11-12ドル業務分 イクル (PDCA)への取     『 11-12ドル業務分 イクル (PDCA)への取     『 11-12ドル業務分 イクル (PDCA)への取     『 11-12ドル業務分 イクル (PDCA)への取     『 11-13目標管理 ( ) にするけるたりCAの 実践     『 11-13目標管理 ( ) にする目標管理     こ 3はたいする目標管理     こ 3はたいする目標管理     こ 3はたい可する目標管理     こ 3はたい可する目標管理     こ 3はたい可する目標管理     こ 3はたい可する目標管理     こ 3はたい可する目標管理     こ 3はたい可する目標管理     こ 11-13目標管理 ( ) に1-14 知知注意情中心の取組     こ 11019注意情やの取組     こ 11019注意情やの取組     こ 11019注意情やの取組     こ 112-1ドルイトガバナンス(CG)への取     『 11-2 に小業務活動の方向付     」 コーポレイトガバナンス(CG)の現     こ 2 日本版SOX分流に差 3ムンたいのの内	評価項目たテナンス     対策:2012年ウンプル率     対策:7月10倍。     なのツルーレス     プリートは     プリートは     プリートは     プリートは     プリートは     プリートは     プリートに     選択内容素     ジェ     ジェ     プリートに     選択内容素     ジェ	・         ・         ・
選択肢の編	幕集画面	####180000-表示     原用 1 2 3 開 間 : *     トップの移動 上の項目 選択項目      I 1 / - グッシップ     I 1 - 1 I 経営理念に営攻、バドMのリーダーシップ     I 1 - 1 I に経営理念に営攻、バドMのリーダーシップ     I 1 - 1 I に経営理念に営攻、バドMのリーダーシップ     I 1 - 1 I に経営理念に受力、小学     I 1 - 1 F Mの経営理念とビジョン・戦     i 1 # 経営者のFMに対するビジョン・戦     I 1 - 1 2 FM業務サイブル(PDCA)への取     I 1 - 1 2 FM業務サイブル(PDCA)への取     I FM戦間にあけるPDCAの実践     I 1 - 1 3 目標管理 0 よりはるPDCAの実践     I 1 - 1 3 目標管理 0 よりはるPDCAの実践     I 1 - 1 3 目標管理 0 よりはるPDCAの実践     I 1 - 1 3 目標管理 0 表別は、日間する目標管理     3 供給に関する目標管理     3 供給に関する目標管理     3 供給に関する目標管理     3 供給に関する目標管理     3 供給に関する目標管理     3 供給に関する目標管理     1 1 - 2 FM業務活動の方向付     1 1 - 2 FM業務活動の方向付     1 1 - 2 FM業務活動の方向付     2 日本域系のX法を受いたのの取     i II - 2 FM業活動の方向付     3 によってく 情報開発示の取組     C II - 2 Y 情報開活への取組     C II - 2 Y 情報開活への取組     C II - 2 Y 情報開活への取組	評価項目なテナンス 列第: 2012年ウンプル毒 列第: 2012年ウンプル毒 ア新の信念、左のツルービュ ア新の信念、たのツルービュ 新中的の調査 (1 経営者におけるFMの理2 3 パレード 1 道知内容(素文): 道訳の内容(素文): 道訳の内容(素文): 道訳内容(素文): [1 (1 (1 (1 (1 (1 (1 (1 (1 (1 (1 (1 (1 (1	
選択肢の線	幕集画面	####160%9/-*表示     原用 1 2 3 開 間 : : :     トップの移動 上の項目 選択項目      ・ : : : : : : : : : : : : : : : :	評価項目なテナンス 対策:2012年ウンプル率 対策:2012年ウンプル率 対策:2012年ウンプル率 にの場合、なのツレービス は不成のでされます 「月日の場果・の法 はないなのでされます 「月日の場果・の法 はないなのでされます 「月日の時間」 「日のの場合」 「日のの。 「日のの。 「日ののの場合」 「日のの。 「日ののの。 「日ののの。 「日ののの。 「日ののの。 「日ののの。 「日のの。 「日ののの。 「日のの。 「日ののの。 「日ののの。 「日ののの。 「日ののの。	第編とつシュン       小やぶ月着なご湖沢代方か、総合の項目を編集できます。温祝なわた項目が入力 開きの頃をす。新規入力の場合は、新規作成のジオオタンを選択すると運行画項目       振む頃能です。新規入力の場合は、新規作成の       夏新       夏赤川銀い: 1       道沢肢い: 2       道沢肢い: 3       理念を理解している       夏赤川銀い: 3
選択肢の緒	幕集画面	####14000/#+未存 原用 1 2 3 時 日 : * トップの移動 上の項目 強比項目      ・ 1 423 日 日 : * トップの移動 上の項目 強比項目      ・ 1 425年によりていたりすうシップ ・ 1 - 1 425年によりてたいの可念 ・ 2 425年のFMOUーダーシップ ・ 1 - 1 425年によりてたいの可念 ・ 2 425年のFMOUーダーシップ ・ 1 - 1 1 425年によりてないの可念 ・ 2 425年のFMOU子さンコン・戦      ・ 1 - 1 425年によりてならいの可念 ・ 2 425年のFMOU子さンコン・戦      ・ 1 - 1 425年によりてならいの可念 ・ 2 425年のFMOU子さンコン・戦      ・ 1 - 1 425年によりてならいの可念 ・ 2 425年のFMOU子が、日本のの可念 ・ 1 - 1 425年によりてならいの可念 ・ 1 - 1 425年によりてならいの可念 ・ 3 中美男味(予目面)によりてならいのの変 ・ 1 - 1 5 相等音響・の取組 ・ 1 1 - 1 5 相等音響・の取組 ・ 1 1 - 1 5 相等音響・の取組 ・ 1 1 - 1 5 相等音響・ ・ 3 供給に関する目標音響 ・ 3 供給で利する日標音響 ・ 3 供給での可念 ・ 1 - 2 年に外に見ずる日標音響 ・ 1 1 - 2 年に外に見ずる目標音響 ・ 1 1 - 2 年に外に見ずる日標音響 ・ 1 1 - 2 年に外に見ずる日標音響 ・ 1 - 1 年に 4 元の可え(ころ)への取組 ・ 1 - 2 - 1 年候期時示の取組 ・ 1 1 情報時示の取組 ・ 1 情報時示の取組 ・ 1 1 情報時示の取組 ・ 1 1 情報時示の取組 ・ 1 1 4 年ののの取組 ・ 1 - 3 - 1 年 への取組 ・ 1 1 4 年ののの取組 ・ 1 1 - 3 - 1 年 への取組 ・ 1 1 - 3 - 1 5 年 への取組 ・ 1 1 - 3 - 1 5 年 への取組 ・ 1 1 - 3 - 1 5 年 への取組 ・ 1 1 - 3 - 1 5 年 への取組 ・ 1 1 - 3 - 1 5 年 への取組 ・ 1 1 - 3 - 1 5 年 への取組 ・ 1 1 - 3 - 1 5 年 への取組 ・ 1 1 - 3 - 1 5 年 への取組 ・ 1 1 - 3 - 1 5 年 への取組 ・ 1 1 - 3 - 1 5 年 への取組 ・ 1 1 - 3 - 1 5 年 への取組 ・ 1 1 - 3 - 1 5 年 への取組 ・ 1 1 - 3 - 1 5 年 への取組 ・ 1 - 3 - 1 5	評価項目欠テナンス 対策:2012年ウンプル帯 更新の場合、在のツレービュ パホリロの場合、第一部のツレービュ パホリロの場合、第一部のツレード 1 起営者におけるPMのの地名 選択の内容のが利用 クレード 1 選択の内容を文: 選択の内容を文: 選択事件1個: 20000 クレード 3 選択事件1個: 20000 クレード 3 選択事件1個: 20000 クレード 3 選択事件1個: 20000 クレード 3 選択事件1個: 30000 クレード 4	第日でシンゴン       小から項目をご説形べたか、該着の項目を編集できます。選択がれた項目が入力 語本可能やす。新規へ力の得合は、新規作成のジオネジンを選択すると運行面実目       現式の編集       更新       原新       更新       第日本です。新規へ力の得合は、新規作成のご考理を 通択肢No:       現状放Na       度新       東京規No:       2       道択肢No:       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       2       3       理念を増解している       表示規No: 3       理念を増解している       3       理念を増解している       3       理念を増解している       3       理念を増解い: 3       選択肢No:       3       理念を増解い: 3       選択肢No:       3       2
選択肢の縦	幕集画面	評価項目のツリー表示           原用         1         2         3         開         1         1           トップの移動         上の項目         選択項目         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲         ▲ <th>評価項目之テナンス 対策:2012年ウンプル帯 対策:2012年ウンプル帯 更所の場合、在のツレービュ パボロの場本: ※注 1 起気者:33円代の パボロの場本: ※注 1 起気者:35寸るFMのの地名 選択内容容文: 違択ななた: 違択ななた: 違択ななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: この00 ワレード 1 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: この00 ワレード 3 違れななたた: 違れななた: 違れたなた: この00 ワレード 3 違れななた: 違れななた: 違れたなた: この00 ワレード 3 違れななた: 違れたなたた: 違れたなた: この00 ワレード 3 違れななた: 違れたなたた: この00 ワレード 4 不可にはたたたたたた. この00 ワレード 4 不可にはたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたた</th> <th></th>	評価項目之テナンス 対策:2012年ウンプル帯 対策:2012年ウンプル帯 更所の場合、在のツレービュ パボロの場本: ※注 1 起気者:33円代の パボロの場本: ※注 1 起気者:35寸るFMのの地名 選択内容容文: 違択ななた: 違択ななた: 違択ななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: この00 ワレード 1 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: 違れななた: この00 ワレード 3 違れななたた: 違れななた: 違れたなた: この00 ワレード 3 違れななた: 違れななた: 違れたなた: この00 ワレード 3 違れななた: 違れたなたた: 違れたなた: この00 ワレード 3 違れななた: 違れたなたた: この00 ワレード 4 不可にはたたたたたた. この00 ワレード 4 不可にはたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたた	

# 5.4 インフラ評価項目設定内容の説明

□ 11-1 経営理念に基づいたFMのリーダーシッ  ̄ ブ	評価項目設定内容		
□ I1-1-1 FMの経営理念とビジョン・戦略	IT IMPACIENCE TH		
■ 1経営者におけるFMの理念	評価項目ID:	11111	
■ 2経営者のFMに対するビジョン・戦	項目表示コード:	1	
略 11-1-2 FM業務サイクル(PDCA)への取	項目名:	経営者におけるFMの理念	*
□ 11-1-2 FM来研9 4 5/0 (FDCA) (0) 收 組			Ŧ
■ 1 FM戦略におけるPDCAの実践	項目説明:		A
2 プロジェクト管理におけるPDCAの 実践			
■ 3 中長期実行計画におけるPDCAの 実践	回答項目かどうか:	回答入力項目 🔹	
■ 4 FM評価におけるPDCAの実践	上位集計項目:	· · · II-1-1 FMの経営理念とビジョン・戦略	•
□ I1-1-3 目標管理への取組	重み係数:	1 0000	
■ 1 財務に関する目標管理	主 二 周期 -	1.0000	
■ 2 品質に関する目標管理	表示順NO:	100	
■ 3 供給に関する目標管理	項目名英文:		*
□ I1-1-4 知的生産性への取組			-
■ 1 知的生産性向上への取組	項目説明英文:		A
■ 2 知的創造性への取組			
□ I1-2 コーポレイト・ガバナンス(CG)への取 組.			T
□1121円/業務洋和小士白/十			

# 評価項目ID

評価項目ののキーとなるNoです。ユニークである必要があります。正の整数値で指定 します。インフラ評価総合を10000とし、10001~ 19999の間で設定します。新規評価 項目作成の場合は、システムが自動生成します。

# 項目表示コード

表示上、項目名の前に表示する記号です。評価項目の階層がわかるような文字列にす ることが望ましい。

# 項目名

評価項目のタイトルです。簡潔な表現が望ましい。(最大100文字以内)

#### 項目説明

評価項目の補足説明です。評価実行画面で、項目名の次の行に表示されます。(最大200文字以内)

#### 回答項目かどうか

回答入力項目 または 集計項目 のいずれかをドロップダウンリストで選択します。 回答入力項目はツリーの末端である必要があります。また、集計項目を新規作成する場 合は、作成後、その下に他の集計項目か回答入力項目を入れる必要があります。

## 上位集計項目

項目ツリー上、この項目の上位となる集計項目をドロップダウンリストから選択しま す。ドロップダウンリストにはすべての集計項目がツリー状の表示でリストアップされ ています。その中から、選択してください。

## 重み係数

集計時、上位項目の評価値を計算する際の重み設定です。(重み付き相加平均。)同一の上位項目に属する項目間の相対値です。標準値は 1.0000 です。小数点以下4桁まで 使用可能です。

# 表示順

上位項目傘下でリスト表示する時の、表示順です。左ベインの項目ツリーの場合も、同 一上位項目の中は、この値の昇順に表示します。0以上の整数値を入れます。最初は、 100番飛ばしぐらいでセットしておくと、将来、間に表示したい場合、便利です。

## 英文用フィールドは将来のための準備フィールドです。現在は使用しません。

## 5.5 インフラ選択肢内容の説明

回答入力項目の選択肢は通常 グレード1~グレード5 の5つです。(JFMES11に準拠。) グレード2、グレード4を省略することは可能です。この場合、評価者には、グレード1、3、5 の3つの選択肢しか表示されません。また、グレード3は、標準値(普通)を表す選択肢として必須です。インフラ評価の初期状態は、全て標準値で初期化されます。一つの選択肢の設定内容は以下の通りです。

■ <u>1経営者に</u> ■ <u>2</u> 経営者の ■ 8	▶ B +± doc = レーコン + tx== <u>おけるFMの理念</u> FMに対するビジョン・戦	選択肢内容の詳細 グレード 1		選択肢No:	1			
□ I1-1-2 FM業務 □ 組	狩サイクル (PDCA) への取	選択内容:	FMの理念を理解して	いない		*		
■ 1 FM戦略	こおけるPDCAの実践					~		
■ 2 プロジェク 実践	<sup>小</sup> 管理におけるPDCAの	選択内容英文:				*		Ε
■ 3 中長期実 実践	行計画におけるPDCAの	選択集計値:	1.0000	表示順No: 1				
■ <b>4</b> FM評価	こおけるPDCAの実践						Ξ	

# 選択肢N o

選択肢のキーとなるNoです。ユニークである必要があります。正の整数値で指定しま す。通常グレード1を1,グレード2を2,・・・という風に設定します。

# 選択内容

選択肢の内容を説明する文章です。(最大150文字)。他の選択肢との違いをはっ きり評価者が理解できるような、明快な表現が必要です。

なお、ここでの説明でも不十分な詳細選択肢内容に関しては、詳細説明用のPDFを アップロードしておき、それを参照しながら評価選択することが可能です。

# 選択集計値

この選択肢を選択した時に評価項目が獲得する評価値です。通常は、

グレード1=1.0000 グレード2=2.0000 グレード3=3.0000 グレード4=4.0000 グレード5=5.0000 と設定します。これ以外の値を設定する場合は、全体評価に影響を与えますので、慎重 な検討のうえ、設定してください。小数点以下4桁まで使用可能です。

# 表示順

評価者にドロップダウンリストにより評価選択肢を表示する時の表示順です。この値の 昇順に表示します。0以上の整数値を入れます。通常は、グレード表示と同じNoを設 定します。

英文用フィールドは将来のための準備フィールドです。現在は使用しません。

. .

5.6 インフラ評価項目の更新

評価項目の更新は、ラジオボタン"項目の編集"を選んだ状態で行います。 "上位集計項目"・"回答項目かどうか"の2つを修正する場合は、ツリー構造に影響 を与えますので、十分ご注意ください。すべての編集をした後の状態が、5.2.の評価 項目ツリールールを満たしている必要があります。

- ① 評価項目設定内容の上右にあるラジオボタンで、更新 を選択します。。
- ② 修正するフィールドに、修正入力します。
- ③ 「更新を実行する」ボタンをクリックして登録します。
   項目名を変更した場合は、左ベインの項目ツリーの表示名が更新されます。

FM Evaluation System	
評価トップページへ このサイトについて 機器	放建物統計 評価項目管理 データ管理
評価項目のソリー表示 展開 1 2 3 開 開 ↓ ↑ トップの移動 上の項目 選択項目	評価項目入テナンス 対象: 2012年ウンブル評価セッション 更新の場合、左のツリービューから項目をご選択ください。該当の項目を編集できます。選択された項目が入力 対象項目の場合、選択性が編集を可能です。新規入力の場合は、新規作成プジオボタンを選択すると評価項目 14111、1915年まれため。
■ I インフラ評価総合 ■ II リーダーシップ II 1 経営理念に基づいたEMのリーダーシック	ヘリノオーン加速がつくてます。 ◎ 項目の編集 ● 選択肢の編集 ◎ 更新 ● 新規作成 ● 削除
	評価項目設定内容
□ <u>11-11+Mの</u> 経営理念20 つう→戦略 ■ <u>1経営者におけるFMの理念</u> ■ 2225-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-	評価項目ID: 11111
2 経営者のFMIに対するビジョン・駅 略 II-1-2 FM業務サイクル(PDCA)への取 細	項目数小コイト・ 項目名: 経営者におけるFMの理念。A A   ・ ・
● 1 FM戦略におけるPDCAの実践 2 ブロジェクト管理におけるPDCAの 実現	項目説明:
3 中長期実行計画におけるPDCAの 実践	回答項目かどうか: 回答入力項目 💌
■ 4 FM評価におけるPDCAの実践	上位集計項目: I1-1-1 FMの経営理念とビジョン・戦略 ▼
<ul> <li>□ I1-1-3 目標管理への取組</li> <li>■ 1 財務に関する日標管理</li> </ul>	重み係数: 1.0000
<ul> <li>■ 2 品質に関する目標管理</li> </ul>	表示順No: 100
<ul> <li>■ 3 供給に関する目標管理</li> <li>□ I1-1-4 知的生産性への取組</li> </ul>	項目名英文:
■ 1 知的生産性向上への取組 ■ 2 知的創造性への取組 <sub>□ 11-</sub> 2 コーポレイト・ガバナンス(CG)への取	項目説明英文:
na. ■ I1-2-1 FM業務活動の方向付 ■ 1コーポレイト・ガバナンス(CG)の視 点	1 経営者におけるFMのJ建念 更新を実行する
<ul> <li>2 日本版SOX法に基づいたFMの内 部統制システムへの組込</li> <li>□ I1-2-2 情報開示への取組</li> </ul>	項目の新規追加 制除・ツー構造の変更を行った場合、最後に 全イ ンフラの評価集計再実行を行ってください。 全インフラの評価集計再実行
■ 1 情報開示の視点	



FM Evaluation System	
評価トップページへ このサイトについて 特	数建物統計 評価項目管理 データ管理
評価項目のツリー表示 展開 1 2 3 開 計 ↓ ↑ トップの移動 上の項目 選択項目 ■ Iインフラ評価総合 □ I1リーダーシップ	評価項目、テナンス 更新変行し気た。 対象:2019年までうれ評価であっよび 更新の場合、なのジルービューかや気音をご避然ださべい。該当の項目を編集できます。選択された項目が入力 対象項目の場合、選択状態は無も可能です。新規入力の場合は、新規作成ラジオポシーを選択すると評価項目 入力フォームが表示されます。 ◎ 項目の編集 ⑦ 選択酸の編集
■ I1-1 経営理念に基づいたFMのリーダーシッ ブ	● £201 ● 2010年1月24 ● 1990年 評価項目設定内容
<ul> <li>□1+1+TFMの経営理念とション・報告</li> <li>1経営者におけるFMの理念。AA</li> <li>2経営者のFMに対するビジョン・戦略</li> <li>□1-1-2 FM業務サイクル (PDCA)への取</li> <li>□</li> </ul>	評価項目ID:     11111       項目表示コード:     1       項目名:     経営者における F Mの理念。A A
*■ ■ 1 FM戦略におけるPDCAの実践 ■ 2 ブロジェクト管理におけるPDCAの 実践	7項目說何9:
→ SMA 3 中長期実行計画におけるPDCAの 実践	回答項目かどうか: 回答入力項目 💌
<ul> <li>4 FM評価におけるPDCAの実践</li> <li>II-1-3 目標管理への取組</li> <li>1 財務に関する目標管理</li> <li>2 品質に関する目標管理</li> <li>2 品質に関する目標管理</li> </ul>	上位集計項目: ・ · · I1-1-1 FMの経営理念とビジョン・戦略 ▼ 重次序級: 1.0000 表示順No: 100
<ul> <li>3 供給に関する目標管理</li> <li>□ 11-1-4 知的生産性への取組</li> <li>1 知的生産性向上への取組</li> <li>2 知的追信性への取組</li> <li>1 知ら追信性への取組</li> <li>1 - コーボレイトボバキン2 (CG)への取</li> </ul>	项目 茶英文: ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~
■ 1 1 FM業務活動の方向付 ■ 111 FM業務活動の方向付 ■ 11ポレイト・ガバナンス(CG)の視 点	1 経営者におけるFMの理念。AA 更新を実行する

## 5.7 インフラ選択肢の更新

評価項目の選択肢の更新は、ラジオボタン"選択肢の編集"を選んだ状態で行います。 ラジオボタン「選択肢の編集」を選択すると、その評価項目に既に定義されている選択肢 が一覧表示され、すべて更新可能となります。

- 評価項目設定内容の上右にあるラジオボタンで、更新を選択します。(デフォルトは更新になっています。)
- ② 修正するグレードの修正するフィールドのすべてに、修正入力します。
- ③ 「更新を実行する」ボタンをクリックして登録します。

FM Evaluation System	
評価トップページへ このサイトについて 複数	約建物統計 評価項目管理 データ管理
詳価項目のツリー表示 展開 1 2 3 開 閉 ↓ ↑ トップの移動 上の項目 選択項目	評価項目か、テナンス 対象: 2012年ウンプル評価セッション 更新の場合、各のソリービューから項目をご選択ください。該当の項目を編集できます。選択された項目が入力 対象項目の <u>場合、選邦はの連集と可能です。</u> 新規入力の場合は、新規作成ラジオボタンを選択する占評価項目
□ Iインフラ評価総合 □ I1リーダーシップ □ I1-1 経営理念に基づいたFMのリーダーシッ	○項目の編集 ◎ 道規技の編集 ● 更新 ● 新規作成 ● 創除
ー 日日日日日の経営理念とビジョン戦略	1 経営者におけるFMの理念 更新を実行する 更新を実行する
<ul> <li>1経営者におけるFMの理念 <ul> <li>2経営者のFMに対するビジョン戦 </li></ul> </li> </ul>	選択肢内容の詳細 グレード 1 選択肢No: 1
□ II- <sup>11-2</sup> FM業務サイクル (PDCA) への取 組	選択内容: FMの理念を理解していない。かつ軽視している。
<ul> <li>1FM戦略におけるPDCAの実践</li> <li>2 ブロジェクト管理におけるPDCAの 実践</li> </ul>	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
■ 3 中長期実行計画におけるPDCAの 実践	選択集計值: 1.0000 表示順No: 1
■ 4 FM評価におけるPDCAの実践 II II-1-3 目標管理への取組	グレード 2 違択肢No: 2
■ 1 財務に関する目標管理 ■ 2 品質に関する目標管理	選択内容:
■ 3 供給に関する目標管理	递积内容英文: <b>个</b>
■ 1 知的生産性向上への取組	選択集計值: 2.0000 表示順No: 2
■ 2 知時週1世年への戦組 目1-2 コーポレイト・ガバナンス(CG)への取 組.	グレード 3 選択肢No: 3
□ I1-2-1 FM業務活動の方向付 ■ 1コーボレイト・ガバナンス(CG)の視 - 5	盗択内容: FMの理念を理解している
 ■ 2 日本版SOX法に基づいたFMの内 部統制システムへの組込	道积内容英文:
<ul> <li>□ I1-2-2 情報開示への取組</li> <li>■ 1 情報開示の視点</li> </ul>	道択集計值: 3.0000 表示順No: 3
<ul> <li>□ I1-3 社会的責任(CSR)への貢献</li> <li>□ I1-3-1 CSR への取組</li> </ul>	グレード 4 道択肢No: 4 -
■ 1 CSRの視点 ■ 2 CSRに関する担当組織の設置	項目の新規追加・削除・ツリー構造の変更を行った場合、最後に全イ ンプラの評価集計再実行を行ってください。
	A13.3 1 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1





#### 5.8 インフラ評価項目の新規追加

評価項目の新規追加は、ラジオボタン"項目の編集"を選んだ状態で行います。 評価項目を新規に作成すれば、ツリー構造に影響を与えます。新規・更新・削除等すべて の編集をした後の状態が、5.2.の評価項目ツリールールを満たしている必要がありま す。

- ① 評価項目設定内容の上右にあるラジオボタンで、新規作成 を選択します。。
- ② 左ベインの項目ツリーの追加したいところを参照しながら項目表示コード、項目名、 項目説明を」入力します。
- ③ "回答入力項目かどうか"ドロップダウンリストで「回答入力項目」か「集計項目」かを指定します。回答入力項目の場合は必ず評価項目ツリーの末端への追加である必要があります。さらに、JFMES11型の評価体系の場合は、必ずツリー階層の4段目である必要があります。(インフラ評価総合を0段目として数えて)

FM Evaluation System						
評価トップページへ このサイトについて श	题建物統計	評価項目管理	データ管理			
詳価項目のソリー表示 展開 1 2 3 開 日 ↓ ↑ トップの移動 上の項目 選択項目	<b>評価項目</b> よ 対象: 20 更新の場合: 対象項目の 入力フォーン	ンテナンス 012年サンプル評価 たのツリービューから 温合、選択肢の編集を いたまごわます	<b>シション</b> 3項目をご選択くだ 3可能です。新規入	さい。該当の項目を 力の場合は、新規(	編集できます。 選 乍成ラジオボタンを	祝された項目が入力 選択すると評価項目
<ul> <li>Ⅱ インフラ評価総合</li> <li>□ Ⅱ リーダーシップ</li> <li>□ Ⅱ -1 経営理念に基づいたFMのリーダーシッ</li> </ul>	●項	れかれたれてより。 目の編集 ○ 選択肢	の編集	<b>○</b> 更	釿 ◉ 新規作成	<ul> <li>) 削除</li> </ul>
<ul> <li>ブ</li> <li><u>J1+11FMの経営理念とビジョン戦略</u></li> </ul>	評価項目設	定内容				
<ul> <li>1経営者におけるFMの理念</li> </ul>	評価項目II	D:  1000	1			
2 経営者のFMに対するビジョン戦略 留 II-1-2 FM業務サイクル (PDCA)への取 細	項目表示:: 項目名:	·····································	▶評価項目			*
<ul> <li>■ 1 FM戦略におけるPDCAの実践</li> <li>2 プロジェクト管理におけるPDCAの 実践</li> </ul>	項目説明:	72:	ュアル作成用			4 7
3 中長期実行計画におけるPDCAの 実践	回答項目加	いどうか。 回答, 毎日1	人力項目 百日	•		
<ul> <li>4FM評価におけるPDCAの実践</li> </ul>	上位集計功	(II: 🔪 🛄	(力項目			•
	重み係数:	1.000	0			
<ul> <li>■ 1 約179L 190 9 公日 供言理</li> <li>■ 2 品質に関する日 標管理</li> </ul>	表示順No	100				
<ul> <li>3 供給に関する目標管理</li> </ul>	項目名英文	r:				A

④ "上位集計項目"ドロップダウンリストで追加する評価項目を所属させる上位集計 項目を指定します。回答入力項目を追加する場合、JFMES11型の評価体系の場合は、 必ずツリー階層の3段目の集計項目を選びます。(インフラ評価総合を0段目とし て数えて。下図の ・・ が三個ついている集計項目。)



⑤ 重み係数、表示順Noを整えて、「新規作成を実行する」ボタンを押します。

FM Evaluation System		Í
評価トップページへ このサイトについて 約	設建物統計 評価項目管理 データ管理	
評価項目のソリー表示 展開 1 2 3 開 日 ↓ ↑ トップの移動 上の項目 選択項目 G I1リーダーシップ	<ul> <li>評価項目とペテナンス 対象:2012年ウンブル評価セッシュン</li> <li>更折の場合、弦のツルービューから項目をご選択ください。該自の項目を編集できます。選択された項目が入力 対象項目の場合、選択校の編集等の単にやす。新規入力の場合は、新規作成ラジオボタムを選択すると評価項目 入力フォームが表示されます。</li> <li>項目の編集 登 選択技の編集</li> <li>更新 受 新規作成 ② 創除</li> </ul>	
<ul> <li>□ I-1 経営理念に基づいたFMのリーダーシップ</li> <li>□ II-1-1 FMの経営理念とジョン・戦略</li> <li>□ 1経営者におけるFMの理念</li> <li>□ 2経営者のFMに対するどジョン・戦略</li> <li>□ 1-2 FM業務サイクル (PDCA)への取</li> </ul>	評価項目設定内容       評価項目D:       10001       項目表示コード:       3       項目名:     テスト評価項目	
<ul> <li>■ 1 FM戦略におけるPDCAの実践</li> <li>2 ブロジェクト管理におけるPDCAの実践</li> <li>3 中長期実行計画におけるPDCAの</li> </ul>	項目説明: マニュアル作成用 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
実践 ■ 4 FM部価におけるPDCAの実践 ■ II-1-3 目標管理への取組 ■ 1 財務に関する目標管理 ■ 2 品質に関する目標管理	上位集終項目: · · I1-1-1 FMの経営理念とビジョン・戦略 重次係数: 1 0000 表示順No: 300	
<ul> <li>3 供給に関する目標管理</li> <li>I1-1-4 知的生産性への取組</li> <li>1 知的生産性の上への取組</li> <li>2 知的地産性の上への取組</li> </ul>	→R4公应文:	
■ 11-2 コーボレイト・カハナンス(CG)への取 組. ■ 11-2-1 FM業務活動の方向付 ■ 1コーボレイト・ガバナンス(CG)の視 点	新規作成を実行する	>
2 日本録SOX法に差ついたFMの内 部統制システムへの組込 □ 11-2-2 情報開示への取組 ■ 1 情報開示への取組 ■ 1 情報開示への取組	項目の所規追加 割除 "沙~構造の変更を行った場合、最後に 全イ ンフラの評価集計再実行を行ってください。 全インフラの評価集計再実行	
<ul> <li>□ 11-3 112c019TITCSK/への見紙</li> <li>□ 1-3-1 CSRへの取組</li> <li>■ 1 CSRの視点</li> <li>■ 1 CSRの視点</li> <li>■ 2 CSDIE開オス相当組織の範囲</li> <li>● 10 CSRの視点</li> </ul>	SileAA/OMUnda)	

⑥ 新規の評価項目が作成されたことが、上部に赤字で表示され、左側の項目ツリーの 該当場所に、今追加した評価項目が表示されます。

では、作られた内容を確認するために、ラジオボタン"更新"をクリックして更新 モードにし、項目ツリーで今追加した項目をクリックしてみましょう。

FM Evaluation System	
評価トップページへ このサイトについて 複	変数建物統計 評価項目管理 データ管理
<b>詳師項目のツリー表示</b> 展開 1 2 3 開 問 1 トップの移動 上の項目 選択項目	評価項目とデレス 新規作成案件にました。 対象: 2012年ウンプル評価セシシェン 更新の場合、在の、ソービューから項目をご選択だたか、該参加項目を編集できます。選択された項目が入力 対象項目の場合、選択扱の編集を新始化です。新規大力の場合は、新規作成ひジオボタンを選択すると評価項目 入力フォームが表示されます。 ◎ 項目の編集 ○ 選択扱の編集 ① 更新 ◎ 新規作成 ○ 創除
<sup>1</sup> 7	評価項目設定内容
□ I1-1-1 FMの経営理念とビジョン・戦略 ■ 1 経営表におけるの4の理念	評価項目ID: 10002
- 2経営者のFMIC対するビジョン・戦	項目表示コード:
	项目名:
<ul> <li>3 テストitTle項目</li> <li>11-1-2 FM業務サイクル(PDCA)への駅</li> </ul>	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
祖	項目説明: ^
<ul> <li>1FM戦略におけるPDCAの実践</li> <li>2 ゴロミジェクト管理におけるPDCAの</li> </ul>	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
■ 2010 2011 自注(2011) 0000000	回答項目かどうか: 集計項目 -
3 中長期実行計画におけるPDCAの 実務	F位集計項目: 未濯祝
■ 4 FM評価におけるPDCAの実践	重改係数: 10000
□ I1-1-3 目標管理への取組	表示 IIINo: 100
<ul> <li>1財務に関する目標管理</li> </ul>	
■ 2 品質に関する目標管理	項目名英文:
■ I1-1-4 知的生産性への取組	道日路明紫文·
■ 1 知的生産性向上への取組	· 供目前10月9天。
■ 2 知的創造性への取組	
□ I1-2 コーポレイト・ガバナンス(CG)への取 細.	
□ I1-2-1 FM業務活動の方向付	新規作成を実行する
■ 1コーポレイト・ガバナンス(CG)の視	項目の新規追加・削除・ツリー構造の変更を行った場合、最後に全イ
□ 2 日本版SOX法に基づいたFMの内	ンフラの評価集計再実行を行ってください。 全インフラの評価集計再実行
部統制システムへの組込	
<ul> <li>11222 (新報用示の視点)</li> </ul>	
□ I1-3 社会的責任(CSR)への貢献	
□ I1-3-1 CSRへの取組	
■ 1 CSRの視点	

⑦ 入力した通りの内容が表示されます。では、自動作成された選択肢の内容を見てみましょう。



⑧ 項目ツリーで今追加した項目をクリックした状態で、ラジオボタン"選択肢の編集"を選択します。すると、以下のように、グレード1~グレード5の選択肢が、 デフォルトで作成されていることがわかります。以下、必要であれば、5.7.の 方法で、各選択肢の選択内容欄を修正して更新します。

FM Evaluation System		
評価トップページへ このサイトについて 複数	建物統計 評価項目管理 データ管理	
詳 <b>師項目のツリー表示</b> 展開 1 2 3 開 閏 ↓ ↑ トップの移動 上の項目 選択項目	評価項目大・テナンス 対象:2012年ウンプA評価ビッシュン 更新の組合、さのリンドエューから項目をご選択くたさい。該当の項目を編集できます。 対象項目の <u>出合、選加はの調集と可能です。</u> 新規入力の場合は、新規作成ラジオがメ	、選択された項目が入力 いを選択すると評価項目
■ I インフラ評価総合 ■ I1リーダーシップ	<ul> <li>○ 項目の編集 ● 道況肢の編集</li> <li>● 更新 ● 新規作</li> </ul>	:成 ○削除
□ 11-1 経営理念に基づいたFMのリーダーシッ ブ □ 11-1-1 FMの経営理念とビッコン・戦略	3 テスト評価項目	新を実行する
<ul> <li>■ 1経営者におけるFMの理念</li> </ul>	選択時内容の詳細	*
2経営者のFMに対するビジョン・戦略	グレード 1 選択肢No: 1	
<ul> <li><u>3 テスト評価項目</u></li> <li><u>11-2 FM業務サイクル (PDCA)への取</u></li> </ul>	通択内容: 低い	<u>^</u>
Ⅲ ■ 1 FM戦略におけるPDCAの実践 2 ゴロン、 クレ管理にたける PDCAの	還択內容英文:	A
2 Jロジェンド 自注にのけるPDCAの 実践 3 中長期実行計画におけるPDCAの	選択集計值: 1.0000 表示 IIINo: 1	
■ 実践 ■ 4 FM評価におけるPDCAの実践	グレード 2 選択肢No: 2	
<ul> <li>□ I1-1-3 目標管理への取組</li> <li>■ 1 財務に関する目標管理</li> </ul>	選択内容: やや低い	A
■ 2 品質に関する目標管理 ■ 3 供給に関する目標管理	還択內容英文:	~
<ul> <li>□ I1-1-4 知的生産性への取組</li> <li>■ 1 知的生産性向上への取組</li> </ul>	選択集計值: 2.0000 表示 順No: 2	
■ 2 知的創造性への取組 = 11-2 コーボレイト・ガバナンス(CG)への取	グレード 3 選択肢No: 3	
■ 組. ■ I1-2-1 FM業務活動の方向付	選択内容: 標準	^ ~
■ 1コーボレイト・ガバナンス(CG)の視点 ユーホート・ガバナンス(CG)の視	選択內容英文:	^
<ul> <li>2日4MRSUX法に塗ついたHMDIA</li> <li>部統制システムへの組込</li> <li>■ I1-2-2 情報開示への取組</li> </ul>	選択集計值: 3.0000 表示順No: 3	v
<ul> <li>1情報期示の視点</li> <li>1.12 社会的事任(COR)のの貢献</li> </ul>	グレード 4 選択肢No: 4	
■ 11-3+1 CSRへの取組	項目の新規追加・創除・パリー・構造の変更を行った場合、最後に全イ	
■ 1 CSRの視点	ンプラの評価集計再実行を行ってください。	ラの評価集計再実行

#### 5.9 インフラ評価項目およびその選択肢の削除

評価項目の削除は、まず、その評価項目の選択肢の削除から行います。選択肢が存在する 評価項目は、削除できません。 評価項目を削除すれば、ツリー構造に影響を与えます。新規・更新・削除等すべての編集 をした後の状態が、5.2.の**評価項目ツリールール**を満たしている必要があります。

# 5.9.1 インフラ選択肢の削除

- 削除対象の評価項目を選択した状態で、ラジオボタン"選択肢の編集"を選択します。
- ② 上右にあるラジオボタンで、削除を選択します。すると、リストされている選択肢の各グレードの中に、「削除する」チェック欄が表示されます。。

FM Evaluation System		
評価トップページへ このサイトについて 複数	建物統計 評価項目管理 データ管理	
評価項目のツリー表示 展開 1 2 3 開 日 ↓ ↑ トップの移動 上の項目 選択項目 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	評価項目大・テナンス 対象: 2012年ウンプル評価セッション 更新の場合、左のツリービューから項目をご選択くたさい。該当の項目を編集できます。選択された項目が入力 対象項目の場合、選択技の編集を可能です。新規入力の場合は、新規作成ラジオボタンを選択すると評価項目 入力フォームが表示されます。 ○項目の編集 ◎ 選択板の編集	₽ 1
□ I1リーダーシップ I1-1 経営理念に基づいたFMのリーダーシック	● 更新 ● 新規作成 ● 削除	
	3 テスト評価項目 削除を実行する	
■ 11-1-1 FMの経営理念とビション・戦略 ■ 1経営者におけるFMの理念	選択時内容の詳細	
2 経営者のFMに対するビジョン・戦	グレード1 選択肢No: 1	
■ <u>3 テスト評価項目</u> <u>11-1-2 FM業務サイクル (PDCA)</u> への取	違択内容: 低い ・ ・	
組 ■ 1 FM戦略におけるPDCAの実践 _ 2 ブロジェクト管理におけるPDCAの	道积内容英文:	
実践 3 中長期実行計画におけるPDCAの	選択集計値: 1.0000 表示順No: 1 回前除する	
実践 ■ 4 FM評価におけるPDCAの実践	グレード 2 選択肢No: 2	
<ul> <li>□ I1-1-3 目標管理への取組</li> <li>■ 1 財務に関する目標管理</li> </ul>	選択内容: やや低い	
■ 2 品質に関する目標管理 ■ 3 供給に関する目標管理	<b>溢</b> 択内容英文:	
<ul> <li>□ I1-1-4 知的生産性への取組</li> <li>■ 1 知的生産性向上への取組</li> </ul>	道択集計値: 2.0000 表示順No: 2 回初除する	$\left( \right)$
■ 2 知的創造性への取組 	グレード 3         選択肢No: 3	
□ 組. □ I1-2-1 FM業務活動の方向付	選択內容: 標準 个	
■1コーポレイト・ガバナンス(CG)の視 点 2日本版SOX法に基づいたEMの内	選択内容英文:	
■ 日本1000000000000000000000000000000000000	道択集計値: 3.0000 表示順No: 3 回約除する	
■ 1 情報開示の視点 ■ 11-3 社会的責任(CSR)への貢献	グレード 4 選択肢No: 4	Ŧ
□ I1-3-1 CSRへの取組 ■ 1 CSRの視点	項目の新規追加利料やツルー構造の変更を行った場合、最後に全イ ンプラの評価集計再実行を行ってください。 全インフラの評価集計再実行	

③ 削除したい選択肢の「削除する」チェック欄にチェックマークを入れます。
 選択肢をすべて削除するには、グレード1~グレード5のすべての「削除する」
 チェック欄にチェックを入れます。

④ 「削除を実行する」ボタンをクリックします。

FM Evaluation System					
評価トップページへ このサイトについて 複数	奴建物統計 評	価項目管理 データ	管理		
彩色成月小小川まー	製造成日本 みと				- 1
ATTRACT NO 2 3 用 閉 ↓ ↑	対象: 2012年	ィス サンプル評価セッション			
トップの移動 上の項目 選択項目	更新の場合、左の 対象項目の場合、	ソリービューから項目をご達 発択肢の編集も可能です。	観代ください。該当の項目を編集、 新規入力の場合は、新規作成う	できます。選択された項目が入っ ジオボタンを選択すると評価項目	カ 目
	スカフォームが表示	だされます。			
Iインフラ評価総合	◎ 項目の編	集 💿 選択肢の編集			
□ I1-1 経営理念に基づいたFMのリーダーシッ			●更新(	J 新T規TEDX ● 自助所	_
ゴ □ I1-1-1 FMの経営理念とビックョン・戦略	3 テスト評価項目		$\langle$	削除を実行する	
<ul> <li>1経営者におけるFMの理念</li> </ul>					1
■ 2 経営者のFMIC対するビジョン・戦	選択集計値:	2.0000	表示順No: 2	● 削除する	
▲ <u>3 テスト評価項目</u>	グレード 3		選択肢No:	3	
<u>I1-1-2 FM業務サイクル (PDCA)</u> の取 組	選択内容:	標準		*	
■ 1 FM戦略におけるPDCAの実践				Ψ.	
■ 2 ブロジェクト管理におけるPDCAの 実践	選択内容英文:			*	
3 中長期実行計画におけるPDCAの	· 限于口体 是上/法,	2 0000	±.⇒.₩6NT 2	talpa de v	
■ 4 FM評価におけるPDCAの実践	は大米市口道・	5.0000	3元小川町140· 3	( Manbur a O	$\mathcal{I}$
□ I1-1-3 目標管理への取組	グレード 4		選択肢No:	4	
■ 1 財務に関する目標管理	漫中内容・	やや高い			
■ 2 品質に関する目標管理	VED/UP DTER-	1. 1.1610.1		*	
■ 3 供給に関する目標管理	選択内容英文:				
■ 11-1-4 知的生産性向上への取組 ■ 1 知的生産性向上への取組					
<ul> <li>■ 2 知的創造性への取組</li> </ul>	選択集計値:	4.0000	表示順No: 4	( ■削除する	
□ I1-2 コーポレイト・ガバナンス(CG)への取	No. 10 F				
祖. 同 II-2-1 FM業務活動の方向付	クレートち		選択肢No:	5	
■ 1コーボレイト・ガバナンス(CG)の視	選択内容:	高い		*	
点 2日本版SOX法に基づいたFMの内				<b>v</b>	
	通机内容央义:				
□ 11-2-2 宿報開示への収組 ■ 1 情報開売の担占	選択集計値:	5.0000	表示順No: 5	スを創催図	
□ I1-3 社会的責任(CSR)への貢献					-
□ I1-3-1 CSRへの取組	項目の新規追加計	削除・ツリー構造の変更を	行った場合、最後に全イ		
■ 1 CSRの視点	ンフラの評価集計	再実行を行ってください。		全インフラの評価集計再実行	

⑤ 上部に削除しました と表示され、選択肢が削除されました。すべて削除した時は、 下図のように、選択肢内容の詳細部分が空になります。

FM Evaluation System	
評価トップページへ このサイトについて 複	效建物統計 評価項目管理 データ管理
FYEMPOYCHON 2004/KCOVC 提      FYEMPOYCHON     FYEMPOYCH	松弛項目管理 データ管理      File項目人テテレス 解除しました。     Age: 2014名をサンプル評価セッション      Fileの場合、滋肝肢の病毒能や可能です。新知人力の場合は、新規作成ウジオホタンを選択すると評価項目     人カフォームが表示されます。     ・ ①項目の編集 ® 違択肢の編集     ・ ①項目の編集 ® 違択肢の編集     ・ ①項目の編集 ® 違択肢の編集     ・ ① 更新 ● 新規作成 @ 創除     3 テスト評価項目     通知登
<ul> <li>3 供給に関する目標管理</li> <li>11-1-4 知時生産性均しへの取組</li> <li>1 知時生産性均しへの取組</li> <li>2 知時能損益への取組</li> <li>2 知時能損益への取組</li> <li>11-2 コーボレイト・ガバナンス(CG)への取 組.</li> <li>11-2 コーボレイト・ガバナンス(CG)の取 点</li> <li>2 日本版SOX治に基づいたFMの内 部級部とステムへの取組</li> <li>2 日本版SOX治にあづいたFMの内 部級部とステムへの取組</li> <li>11-2-2 情報期示への取組</li> <li>1 15-31 CSRへの取組</li> <li>1 CSRの視点</li> </ul>	項目の新規追加一削除。ツリー構造の変更を行った場合、最後に全イ ンプラの評価集計再実行を行ってください。 全インフラの評価集計再実行

# 5.9.2 インフラ評価項目の削除

- ① 削除対象の評価項目を選択した状態で、ラジオボタン"項目の編集"を選択します。
- ② 上右にあるラジオボタンで、削除を選択します。すると、評価項目設定内容の中に、「削除する」チェック欄が表示されます。。

評価トップページへ このサイトについて 複	認知道物統計 評	画項目管理 データ管理		
Y和項目のツリー表示 期123期間↓↑ ップの移動上の項目 選択項目 Iインフラ評価総合	評価項目大テナン、 対象: 2012年 更新の場合、左のツ 対象項目の場合、対 入力フォームが表示 ● 項目の編	✓ス オンプル評価セッション ハービューから項目をご選択く行 進択肢の編集も可能です。新規 たれます。 東 ○ 選択肢の編集	こさい。該当の項目を編集できま 入力の場合は、新規作成ラジオ?	す。選択された項目が入力 ドタンを選択すると評価項目
■ I1リーダーシップ I1 1 級労理会に基づいたにMのリーガーン・・・・■			<ul> <li>① 更新 ② 新其</li> </ul>	龍作成 🔍 削除 📄
■ 11-1 程名理念に並 スパンFM00 - ダーシッ ブ	評価項目設定内容	2		
□ I1-1-1 FMの経営理念とビジョン・戦略		10001		The second secon
■ 1 経営者におけるFMの理念		10001		
2.絵言者のFMに対するビジョン・戦 略	項目表示コート:	3		$\sim$
	項目名:	テスト評価項目		÷
<u>- H1-1-2 FM業務サイクル(PDCA)への</u> 取 ■ 細	項目説明:	マニュアル作成用		A
■ 1 FM戦略におけるPDCAの実践				
2 ブロジェクト管理におけるPDCAの 実現	回答項目かどうか	: 回答入力項目	•	
3 中長期実行計画におけるPDCAの				
	上位集計項目:	• • • 11-1-1 Ft	Mの経営理念とビジョン・戦略	
= + F Mitt III このり るPDCAの 実成 = 11-1-3 日搏管理への取組	重み係数:	1.0000		
<ul> <li>■ 1 財務に関する日標管理</li> </ul>	表示順No:	300		
■ 2 品質に関する目標管理	<b>項目</b> 名當文:			A
<ul> <li>3 供給に関する目標管理</li> </ul>	ALL HARDEN			-
□ I1-1-4 知的生産性への取組	項目説明英文:			*
■ 1 知的生産性向上への取組				
■ 2 知的創造性への取組				<b>T</b>
□ I1-2 コーポレイト・ガバナンス(CG)への取				
11-2-1 FM業務活動の方向付	3 テスト評価項目			削除を実行する
_ 1コーポレイト・ガバナンス(CG)の視				
	項目の新規追加情	削除・ツリー構造の変更を行った Exacts	場合、最後に全イ	「二の証何年計画字行」
■ 2 日本版SOXACをついたFMの内 部統制システムへの組込	シップの新日本語日本	39611511-5 C //2GA,9	±1.	////warium来al侍英门
□ I1-2-2 情報開示への取組				
■ 1 情報開示の視点				
□ I1-3 社会的責任(CSR)への貢献				
□ I1-3-1 CSRへの取組				
■ 1 CSRの視点				

③ 「削除する」チェック欄にチェックマークを入れ、「削除を実行する」ボタンをク リックします。

下図のように、削除されましたの表示とともに、評価項目が削除され、左側の評価 項目ツリーにも表示されなくなりました。



### 5.10 全インフラの評価集計再実行

ツリー構造および集計値に影響を与えるような一連の評価項目の編集を行った後は、必 ず、全インフラの評価集計再実行を行います。そうしないと、集計値が正しく表示されま せん。

ツリー構造および集計値に影響を与えるような編集とは、評価項目の新規追加・削除を 行った場合、および、評価項目の更新のみだが、一か所でも、上位集計項目の変更・項目 種類の変更・重み係数の変更・選択肢の選択集計値の変更を行った場合です。

全インフラの評価集計再実行を行う前に、新規追加・更新・削除等すべての編集をした後の状態が、5.2.の評価項目ツリールールを満たしているかどうかよく確認してください。満たしているならば、全インフラの評価集計再実行を行います。満たしていない場合は、満たすよう評価項目体系を修正してください。

全インフラの評価集計再実行の実行方法は、以下の通りです。

- 評価項目メンテナンス画面の左側ベインで任意の評価項目を選択します。(インフラ 評価総合項目でよい。)
- ② 右側ベインの下部の、全インフラの評価集計再実行ボタンをクリックします。集計処理が始まります。処理には数分かかる場合があります。

	FM Evaluation System			
I	評価トップページへ このサイトについて 複数	处建物统計 評価項目	管理 データ管理	
	評価項目のツリー表示 展開 1 2 3 開 開 ↓ ↑ トップの移動 上の項目 選択項目	評価項目大・テナンス 対象: 2012年サンプ 更新の場合、左のソリーと 対象項目の得合、澄却時	<b>れ評価セッション</b> にっかかな買着をご選択だださい。該当の項目を編集できます。選択された項目が入 プロ連載者可能かっ、野畑は、1ヵ0月をつく野畑ののついただか。必選切ってはないので何	fj a
1		入力フォームが表示される		-
╢	E I1リーダー:),,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	Tel Oni el statu desta	●更新 ○新規作成 ○削除	
I	□ I1-1 経営理念に基づいたFMのリーダーシッ □ →	評価項目設定内容		
I	- □ I1-1-1 FMの経営理念とビミジョン・戦略	評価項目ID:	10000	
	<ul> <li>■ 1経営者におけるFMの理念</li> </ul>	項目表示コード:	1	
	■ 2経営者のFMに対するビジョン・戦	項目名:	インフラ評価総合	
	略 - I1-1-2 FM業務サイクル(PDCA)への取		v	
	41	項目説明:	インフラ評価の総合値	
	<ul> <li>1FM戦略におけるPDCAの実践</li> </ul>			
	2フロジェクト管理におけるPDCAの 実践	回答項目かどうか:	年計項日 ▼	
	■ 3 中長期実行計画におけるPDCAの 実践	a B Kalv C W	X87X1	
	■ 4 FM評価におけるPDCAの実践	重み係数:	1,0000	
	□ I1-1-3 目標管理への取組	表示IIINo:	0	
	<ul> <li>1財務に関する目標管理</li> </ul>			
	<ul> <li>2品質に関する目標管理</li> </ul>	項目名英文:	*	
	<ul> <li>3供給に関する目標管理</li> </ul>			
	□ I1-1-4 知的生産性への収組	項目説明英文:	*	
	<ul> <li>エカルビリエルモ1日の上への取得</li> <li>コカログロビナオムの取得</li> </ul>		w	
	■ 2 JUBNEIDE1±へいRX#E ■ I1-2 コーポレイト・ガバナンス(CG)への取 細.			
		I インフラ評価総合	更新を実行する	
	■ 1コーボレイト・ガバナンス(CG)の視	rg日の新聞合称。お服み、v	11. #述の东面を伝 - と相会 身体と 合ノ	_
	□ 2 日本版SOX法に基づいたFMの内 部統制システムへの組込	ンフラの評価集計再実行	を行ってください。 全インフラの評価集計再実行	
	□ I1-2-2 情報開示への取組			
	■ 1 情報開示の視点			
	□ I1-3 社会的責任(CSR)への貢献			
	□ I1-3-1 CSRへの取組			
	■ 1 CSRの視点			
	<ul> <li>2 CSRに関する担当組織の設置</li> </ul>			

③ 現在の評価項目ツリー構造に基づいて、全インフラの評価再集計を行いました。集 計値は正確です。

FM Evaluation System			
	建物統計 評価項目管理	データ管理	
<b>計師項目のツリー表示</b> 展開 1 2 3 開 開 ↓ ↑ トップの移動 上の項目 潜択項目 日(1)つ方評価総合 日1111	計画項目と、テナイス全へ 対象:2012年サンタル評価セン 更新の場合、左のツリービューから 対象項目の場合、違択肢の編集も「 入力フォームが表示されます。	レフラの評価集計を再実行し取した。 ジョン 耳目をご遊水でださい。該当の項目を編集できま 了能です。新規入力の場合は、新規作成ラジオオ ◎ 更新 ○ 新規	<ul> <li>オ、選択された項目が入力</li> <li>ボタンを選択すると評価項目</li> <li>作成 ○ 創除</li> </ul>
<ul> <li>□ 11-0-5/-0-5/-0</li> <li>□ 11-1 経営理念に基づいたFMのリーダーシッ</li> <li>□ 11-1 FMの経営理念とビジョン・戦略</li> <li>■ 14営者におけるFMの理念</li> <li>2 経営者にのけるFMの理念</li> </ul>	評価項目設定内容 評価項目ID: 10000 項目表示コード: 1 項目名: インフ		

# 6. 建物評価項目メンテナンス

建物(ファシリティ)評価は、企業・団体のファシリティマネジメントの対象となって いる個々の建物(ファシリティ)に焦点を当てた評価体系です。建物の信頼性・安全 性、快適性・生産性、耐用性・保全性、環境性能、品格・社会性、など、個々の建物の 性能面を評価します。本システムでは、評価項目の追加・更新・削除だけでなく、階層 構造の変更もできるようになっています。(集計値に影響を与える変更を行った場合 は、全建物の評価集計再実行が必要となります。6.10をご参照ください。) ここでは、建物評価項目の登録・更新・削除の仕方をご説明します。

# 6.1 建物評価項目メンテナンスページの表示

建物評価項目メンテナンスページは、以下の手順で表示します。

上部メニューの評価項目管理をクリックし、建物評価項目メンテナンスをクリックします。

FM Evaluation S	bystem					
評価トップページへ この	サイトについて 複数建	物統計	評価項目管理	データ管理		
評価トップページ 参照または入力するファンリティの選 セッションの対象建物が建物ドロップ インフラのみ選択したい場合は、イン	択を行います。 ダウンリストに表示されていま フラの選択をご使用ください。	ৰ কলে, সাই	インフラ評価項目メス 建物評価項目火ンプ 評細説明FDFアッン	ンテナンス テナンス パロード Rする	E、インフラは自動的に説	難択されます。
建物の選択: 2号館設計棟	<b>•</b>	インフラの選択:	FM基盤評価オ	フィス系	•	セッション変更へ
選択対象	選択されたセッション: 2	2012年サンプル	清平価セッション コントン・コニュ 4月			

② 建物評価項目メンテナンスページが表示されます。

左側のベインに評価項目体系がツリー構造で表示されています。個々の評価項目を クリックすることで、選択することができます。右側のベインは、選択された評価 項目の内容を編集する画面です。デフォルトではファシリティ評価総合項目(集計 項目)が表示されています。

FM Evaluation System	
評価トップページへ このサイトについて 複数	設建物統計 評面項目管理 デーダ管理
評価項目の20-表示 展開 1 2 3 開 」 ・ トップの序動 上の項目 潮快項目 日 5 ファンリティ評価総合	評価項目とクテレス 対象: 2012年9: プリオ評価セウシェン 更新の場合、在のゲービューから項目をご選択(だたい。該当の項目を編集できます。選択された項目が入力 対象項目の場合、選択扱い編集も可能です。新規人力の場合は、新規作成ジンオポジンを選択すると実価項目 入力フォームが表示されます。 ② 更新 ② 新規作成 ② 朝除
日 F1 信頼性・安全性         日 F1-1 数地の安全性           日 F1-11 数地の自然災害の回避性         1 地震災害の回避性           1 地震災害の回避性         2 + かぶ客の回避性	評価の項目設定が容 評価の目む: 20000 項目表示コード: F
<ul> <li>2 上 50%音の回避性             <ul></ul></li></ul>	7月日名: ファシリティ評価総合 ^ * * * * * * * * * * * * * * * * * *
CAFE ■ 数地局辺の充険執足の距離 ■ F1-2 建物の安全性 ■ F1-2-1 構造体の安全性 ■ 5 幕偽単造的安全性の確認	回答項目かどか: 集計項目 ▼ 重次係級: 1.0000
<ul> <li>2 常時床荷重に対する安全性の確認</li> <li>F1-2-2 耐震安全性</li> <li>1 構造体の耐震安全性</li> <li>2 建物付用設備の耐震対策の妥当</li> </ul>	表示順No: 0 項目名義文: 
<ul> <li>住</li> <li>3家具の耐震対策の妥当性</li> <li>4外構の耐震対策の妥当性</li> <li>FI-2-3 耐風安全性</li> <li>1場240の耐腐力(の)</li> </ul>	F ファンサフィ評価総合 更新を実行する
	項目の所規約加一時除いフリー構造の変更を行った場合、最後に全建 物の評価集計再実行を行ってください。 全建物の評価集計再実力
<ul> <li>2 /&gt; / - ブリ 音者効果の女当性</li> <li>3 吹雪対策の妥当性</li> <li>4 星根雪対策の妥当性</li> <li>5 凍結対策の妥当性</li> <li>5 凍結対策の妥当性</li> <li>5 厚に2-5 耐水安全性</li> </ul>	
1 対浸水の安全性	

## 6.2 建物回答入力項目と集計項目、ツリー構造の定義

評価項目には、ツリー構造末端の、直接評価値を入力する回答入力項目と、傘下の評価項 目の集計値を保持する集計項目の2種類があります。左側ベインの評価項目ツリーの末端 で、黒い■がついている項目が回答入力項目です。回答入力項目以外の項目が集計項目で す。項目ツリー構造には、以下のルールがあります。

評価項目ツリールール

- 1. 全ての回答入力項目は必ずツリー構造の末端である必要があり、かつ、いずれかの集 計項目の傘下につく必要があります。
- 2. ファシリティ総合項目以外のすべての集計項目も、いずれかの他の集計項目の傘下に つく必要があります。

その結果、評価項目の全体は、ファシリティ総合項目を頂点とし、回答入力項目を末端と したツリー構造となります。

特に、JFMES11型の評価項目体系の場合は、3つ目のルールがあります。

3. 回答入力項目はすべて、ファシリティ評価総合項目を0段目として数えて、4段目の 階層に位置する必要があります。

下の図は、回答入力項目の一つ「地震災害の回避性」を選択表示したところです。右側ベインの評価項目設定内容の中の"回答項目かどうか"の選択肢が「回答入力項目」となっており、"上位集計項目"の選択肢が、「・・・F1-1-1 敷地の自然災害の回避性」となっています。この項目は、左側の評価項目ツリーでみると、「地震災害の回避性」の上位項目であることがわかります。

このように、個々の評価項目の"上位集計項目"を適切に設定することで、ツリー構造が 定義されています。

FM Evaluation System		Î
評価トップページへ このサイトについて	建物紙計 評価項目管理 データ管理	
評価項目のツリー表示 展開 1 2 3 開 開 ↓ ↑ トップの移動 上の項目 選択項目	評価項目とテナンス 対象: 2012年サンプル評価セッション 更新の場合、左のツリービューから項目をご選択ください。該当の項目を編集できます。選択された項目 対象項目の場合、選択扱の編集も可能です。新規入力の場合は、新規作成ラジオボタンを選択すると評 すったり、レジェーかれった。	が入力 評価項目
<ul> <li>□ F ファシリティ評価総合</li> <li>□ F1 信頼性・安全性</li> <li>□ F1-1 敷地の安全性</li> </ul>	ヘリノオームのまたこれます。 ◎項目の編集 ○ 違初肢の編集 ◎更新 ○新規作成 ○ 創除	
	評価項目設定内容 評価项目D: 21111	
<ul> <li>2 土砂災害の回避性</li> <li>3 浸水災害の回避性</li> <li>G F1-1-2 敷地の安全対応性</li> </ul>	項目表示コード: 1 項目名: 地震災害の回避性 ^	
<ul> <li>1 数地の地盤安定性の確認</li> <li>2 緊急時の避難および数地へのアク セス性</li> </ul>	项目説明: ~ ~	
■ 3 敷地周辺の危険物との距離 Ξ F1-2 建物の安全性	回答項目かどか: 回答入力項目 💌	E
<ul> <li>F1-2-1 構造体の安全性</li> <li>1 基礎の構造的安全性の確認</li> <li>2 常時床荷重に対する安全性の確認</li> </ul>	上位集計項目: · · · F1-1-1 敷地の目然災害の回避性 ▼ 重み係款: 4 0000 表示順No: 100	
<ul> <li>F1-2-2 耐震安全性         <ul> <li>1 構造体の耐震安全性             <ul> <li>2 建物付属設備の耐震対策の妥当</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	項目名英文: ~ ~	
性 ■ 3 家具の耐震対策の妥当性 ■ 4 外構の耐震対策の妥当性	項目脱明英文: ~ ~	
<ul> <li>□ F1-2-3 耐風安全性</li> <li>■ 1 構造体の耐風安全性</li> <li>■ 2 建物付属設備・外構の耐風安全性</li> </ul>	1 地震災害の回避性         更新を実行する	
<ul> <li>□ F1-2-4 耐雪・耐寒安全性</li> <li>■ 1 構造体の対積雪安全性</li> <li>■ 2 マブローチの電素対策の系光性</li> </ul>	項目の新規追加・削除・ツリー構造の変更を行った場合、最後に 全建 物の評価集計再実行を行ってください。 全建物の評価集計再実	217
<ul> <li>3 吹雪対策の妥当性</li> <li>4 屋根雪対策の妥当性</li> </ul>		
<ul> <li>5 凍結対策の妥当性</li> <li>F1-2-5 耐水安全性</li> <li>1 対浸水の安全性</li> </ul>		

# 6.3 建物回答入力項目の選択肢の編集画面

項目ツリーで回答入力項目を選択すると、右側ベインの評価項目設定内容の上に、項目の編集と選択肢の編集を選択できるラジオボタンが表示されます。

1. 項目の編集は、評価項目自身を追加・更新・削除する場合に使用します。

2. **選択肢の編集**は、その評価項目の選択肢を追加・更新・削除する場合に使用します。 評価項目を新設した場合、その選択肢はデフォルト内容で自動作成されますので、その 後、必ず選択肢を適切に更新してセットする必要があります。

FM Evaluation System		Î	
評価トップページへ このサイトについて 特	数建物統計 評価項目管理 データ管理		
<b>評師項目の20/-表示</b> 原開 1 2 3 開 日 ( ) トップの移動 上の項目 選択項目 GFファシリティ評価総合 GF1信頼性・安全性	評価項目なプナンス 対象:2012年ウンプル評価セッション 更新の場合、差のツルービューから項目をご選択ださい。該当の項目を編集できます。選択された項目が入力 対象項目の場合、選択技の編集に可能です。新規入力の場合は、新規作成ジンオホタンを選択すると評価項目 入力フォームが表示されます。 ◎ 項目の編集 ◎ 選択技の編集 ◎ 更新 ◎ 新貨作成 ◎ 削除		
	評価項目設定内容 評価項目D: 21111 項目表示 <u>コード 1</u> 項目名: 地震災害の回避性 ^		頂日の編集画品
<ul> <li>2 緊急時の避難および数地へのアクセス性</li> <li>3 叙地局辺の汚貨為との距離</li> <li>■ F1-2 建物の安全性</li> <li>■ F1-2 1 構造体の安全性</li> </ul>	ୟ目記別: 回答項目かどか: 回答入力項目 上位集計項目: ・・・F1-1-1 数地の自然災害の回避性 ▼	Е	「東口の欄来回山
<ul> <li>1 空戦の構成可支 三日の構成</li> <li>2 常時床所動ご対する安全性の確認</li> <li>F1-2-2 耐酸安全性</li> <li>1 構造体の耐震安全性</li> <li>2 建物付置設備の耐震対策の妥当 性</li> </ul>	重み係数: 4 0000 表示順No: 100 項目名英文: ^ *		
3 家具の耐震対策の妥当性     4 外構の耐震対策の妥当性     F1-2-3 耐限安全性     1 精適体の耐限安全性     1 精適体の耐限安全性     2 建物体相關安全体	項目説明英文: 1 地震災害の回避性 更新を実行する		
<ul> <li>2 (生物) (構成)(第) (外積の)(期)(及支主) ±</li> <li>⇒ F1-2-4 前雪・耐寒安全性</li> <li>■ 1 積迭体の対耗電安全性</li> <li>■ 2 アプローチの雪害対策の妥当性</li> <li>■ 3 吹雪対策の妥当性</li> </ul>	項目の新規追加 削除・ツルー構造の変更を行った場合、最後に 全建 物の評価集計再定行を行ってください。 全建物の評価集計再実行		
<ul> <li>4 屋根雪対策の妥当性</li> <li>5 凍結対策の妥当性</li> <li>□ F1-2-5 耐水安全性</li> <li>■ 1 対浸水の安全性</li> </ul>			

	FM Evaluation System	
	評価トップページへ このサイトについて 複数	線物統計 新面項目管理 データ管理
)編集画面	評価のブダベージス         この少小く次         会話           デ備の項目のシリー表示         第時、1         2         3         第         第         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1 <td< td=""><td>複雑製酒         各田和田智智         今一名管理           プロロロレンコン         「「「「」」」」」」」」「「」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」</td></td<>	複雑製酒         各田和田智智         今一名管理           プロロロレンコン         「「「「」」」」」」」」「「」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」

選択肢の編集画

.

□ F1-1 敷地の安全性	減価度は影響は変		
■ F1-1-1 敷地の自然災害の回避性	at IMPA CIEX JEP JEP		
■ <u>1 地震災害の回避性</u>	評価項目ID:	21111	
■ 2 土砂災害の回避性	項目表示コード:	1	
<ul> <li>3 浸水災害の回避性</li> </ul>	頂日々・	地雷 ※ 実の 同避性	
□ F1-1-2 敷地の安全対応性	相日 日 ·	地震灭害の回避性	
■ 1 敷地の地盤安定性の確認	unt est EV aut		-
2 緊急時の避難および敷地へのアク	項日記明:		^
- セス性			-
■ 3 敷地周辺の危険物との距離	回答項目かどうか:	回答入力項日 🔹	
□ F1-2 建物の安全性	HUMHA COA -		
■ F1-2-1 構造体の安全性	上位集計項目:	<ul> <li>・・・ F1-1-1 敷地の自然災害の回避性</li> </ul>	-
■ 1 基礎の構造的安全性の確認	重み係数:	4.0000	
■ 2 常時床荷重に対する安全性の確認	表示順N∧・	100	
□ F1-2-2 耐震安全性	\$203 MR140 -	100	
■ 1 構造体の耐震安全性	項目名英文:		*
2 建物付属設備の耐震対策の妥当			-
1性	項目説明英文:		A
<ul> <li>3 家具の耐震対策の妥当性</li> </ul>			
■ 4 外構の耐震対策の妥当性			Ŧ
□ F1-2-3 耐風安全性			

#### 6.4 建物評価項目設定内容の説明

# 評価項目ID

評価項目ののキーとなるNoです。ユニークである必要があります。正の整数値で指定 します。ファシリティ評価総合を2000とし、20001~ 29999の間で設定します。新規 評価項目作成の場合は、システムが自動生成します。

# 項目表示コード

表示上、項目名の前に表示する記号です。評価項目の階層がわかるような文字列にす ることが望ましい。

# 項目名

評価項目のタイトルです。簡潔な表現が望ましい。(最大100文字以内)

#### 項目説明

評価項目の補足説明です。評価実行画面で、項目名の次の行に表示されます。(最大200文字以内)

#### 回答項目かどうか

回答入力項目 または 集計項目 のいずれかをドロップダウンリストで選択します。 回答入力項目はツリーの末端である必要があります。また、集計項目を新規作成する場 合は、作成後、その下に他の集計項目か回答入力項目を入れる必要があります。

## 上位集計項目

項目ツリー上、この項目の上位となる集計項目をドロップダウンリストから選択しま す。ドロップダウンリストにはすべての集計項目がツリー状の表示でリストアップされ ています。その中から、選択してください。

## 重み係数

集計時、上位項目の評価値を計算する際の重み設定です。(重み付き相加平均。)同一の上位項目に属する項目間の相対値です。標準値は 1.0000 です。小数点以下4桁まで 使用可能です。

# 表示順

上位項目傘下でリスト表示する時の、表示順です。左ベインの項目ツリーの場合も、同 一上位項目の中は、この値の昇順に表示します。0以上の整数値を入れます。最初は、 100番飛ばしぐらいでセットしておくと、将来、間に表示したい場合、便利です。

## 英文用フィールドは将来のための準備フィールドです。現在は使用しません。

#### 6.5 建物選択肢内容の説明

回答入力項目の選択肢は通常 グレード1~グレード5 の5つです。(JFMES11に準拠。) グレード2、グレード4を省略することは可能です。この場合、評価者には、グレード1、3、5 の3つの選択肢しか表示されません。また、グレード3は、標準値(普通)を表す選択肢として必須です。建物評価の初期状態は、全て標準値で初期化されます。一つの選択肢の設定内容は以下の通りです。

<ul> <li><u>1地震災害の回避性</u></li> <li>2 土砂災害の回避性</li> <li>3 浸水災害の回避性</li> </ul>	選択肢内容の詳細 <mark>グレード 1</mark>	選択肢No: 1	
<ul> <li>□ F1-1-2 敷地の安全対応性</li> <li>■ 1 敷地の地盤安定性の確認</li> </ul>	選択内容:	液状化の可能性があり、かつ、主要活断層へ接近している	A 
2 緊急時の避難および敷地へのアクセス性	選択内容英文:		A 
<ul> <li>- 3 戦地回加200万200万200元000000000000000000000000000</li></ul>	選択集計値:	1.0000 表示順No: 1	E

# 選択肢N o

選択肢のキーとなるNoです。ユニークである必要があります。正の整数値で指定しま す。通常グレード1を1,グレード2を2,・・・という風に設定します。

# 選択内容

選択肢の内容を説明する文章です。(最大150文字)。他の選択肢との違いをはっ きり評価者が理解できるような、明快な表現が必要です。

なお、ここでの説明でも不十分な詳細選択肢内容に関しては、詳細説明用のPDFを アップロードしておき、それを参照しながら評価選択することが可能です。

# 選択集計値

この選択肢を選択した時に評価項目が獲得する評価値です。通常は、

グレード1=1.0000 グレード2=2.0000 グレード3=3.0000 グレード4=4.0000 グレード5=5.0000 と設定します。これ以外の値を設定する場合は、全体評価に影響を与えますので、慎重 な検討のうえ、設定してください。小数点以下4桁まで使用可能です。

# 表示順

評価者にドロップダウンリストにより評価選択肢を表示する時の表示順です。この値の 昇順に表示します。0以上の整数値を入れます。通常は、グレード表示と同じNoを設 定します。

英文用フィールドは将来のための準備フィールドです。現在は使用しません。

# 6.6 建物評価項目の更新

評価項目の更新は、ラジオボタン"項目の編集"を選んだ状態で行います。 "上位集計項目"・"回答項目かどうか"の2つを修正する場合は、ツリー構造に影響 を与えますので、十分ご注意ください。すべての編集をした後の状態が、6.2.の評価 項目ツリールールを満たしている必要があります。

- ① 評価項目設定内容の上右にあるラジオボタンで、更新 を選択します。。
- ② 修正するフィールドに、修正入力します。
- ③ 「更新を実行する」ボタンをクリックして登録します。
   項目名を変更した場合は、左ベインの項目ツリーの表示名が更新されます。

FM Evaluation System							
評価トップページへ このサイトについて 複数	奴建物統計 評価項	目管理	データ管理				
評価項目のツリー表示 展開 1 2 3 開 閉 ↓ ↑ トップの移動 上の項目 選択項目	評価項目大/テナンス 対象: 2012年サン 更新の場合、左のツリー 対象項目の場合、選択	<b>プル評価セ</b> ビューから 肢の編集も	<b>ッション</b> 項目をご選択ください 可能です。新規入力	、。該当の項目を編 の場合は、新規作	i集できます。 選択 成ラジオボタンを追	破れた項目が入力 観沢すると評価項目	
□ F ファシリティ評価総合 □ F1 信頼住・安全性	人力フォームか表示され ◎ 項目の編集	こます。 ◎ 選択肢の		◎ 更新	前 ○ 新規作成 (	○削除	
□ F1-1 数地の安全性 □ F1-1 数地の自然災害の回避性	評価項目設定内容						
<ul> <li>1地震災害の回避性</li> <li>2生砂災害の回避性</li> <li>3 浸水災害の回避性</li> </ul>	評価項目ID: 項目表示コード: 項目名・	21111			>		
<ul> <li>F1-1-2 数地の安全対応性</li> <li>1 数地の地盤安定性の確認</li> <li>2 緊急時の避難および数地へのアク</li> </ul>	項目說明:				/	T A	
	回答項目かどうか:	回答)	力項目		w all	*	
<ul> <li>121 構造体の安全性</li> <li>1 基礎の構造的安全性の確認</li> <li>2 常時床荷重に対する安全性の確認</li> <li>15 2 2 2 2 2 2 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0</li></ul>	エロン来計項日: 重み係数: 表示順No:	4.000	• • F1-1-1 #X地	の自然交響の回應	£1±		
<ul> <li>F1-2-2 前長女主任</li> <li>1 構造体の耐震安全性</li> <li>2 建物付属設備の耐震対策の妥当</li> </ul>	項目名英文:					*	
1± 3 家具の耐震対策の妥当性 4 分構の耐震対策の妥当性	項目説明英文:					A T	
<ul> <li>□ +1-2-3 耐風安全性</li> <li>■ 1 構造体の耐風安全性</li> <li>■ 2 建物付属設備・外構の耐風安全性</li> </ul>	1 地震災害の回避性				更新を	実行する	
<ul> <li>F1-2-4 耐雪・耐寒安全性</li> <li>1 構造体の対積雪安全性</li> <li>2 アプローチの雪害対策の妥当性</li> </ul>	項目の新規追加・制除 物の評価集計再実行を	・ツリー構造 を行ってくた	きの変更を行った場合 さい。	、最後に全建	全建物の評	価集計再実行	J
			_				

FM Evaluation System		
評価トップページへ このサイトについて 複数	奴建物統計 副新田項目	管理 データ管理
評価項目のツリー表示 原照 1 2 3 開 開 ↓ ↑ トップの移動 上の項目 選択項目	<b>評価項目メッテナンス</b> 対象: 2012年サンク 更新の場合、左のツリービ 対象項目の場合、選択肢 入 カフォームが表示される	更新実行しなた。 れ評価でジョン コープや3項目をご題取べたさい。該当の項目を編集できます。選択された項目が入力 の編集を可能です。新規入力の場合は、新規作成プジオボタンを選択すると評価項目 Fet。
<ul> <li>□ Fファシリティ評価総合</li> <li>□ F1 信頼性・安全性</li> <li>□ F1-1 數地の安全性</li> </ul>	<ul> <li>● 項目の編集</li> </ul>	選択肢の編集 ◎ 更新 ○ 新規作成 ○ 削除
<ul> <li>□ F1-1-1 敷地の自然災害の回避性</li> <li>■ 1 地震災害の回避性。AA</li> </ul>	評価項目設定内容 評価項目ID:	21111
<ul> <li>2土砂災害の回避性</li> <li>3 温水災害の回避性</li> </ul>	項目表示コード:	1
□ F1-1-2 敷地の安全対応性	項目名:	地震災害の回避性。AA
<ul> <li>1 数地の地盤安定1400mm2</li> <li>2 緊急時の避難および敷地へのアク セス性</li> </ul>	項目説明:	A
■ 3 敷地周辺の危険物との距離 Ξ F1-2 建物の安全性	回答項目かどうか:	回答入力項目
□ F1-2-1 構造体の安全性	上位集計項目:	<ul> <li>・・・F1-1-1 敷地の自然災害の回避性</li> </ul>
■ 1 基礎の構造的安全性の確認	重み係数:	4.0000
<ul> <li>2 常時床倚重に対する安全性の確認</li> <li>F1-2-2 耐震安全性</li> </ul>	表示順No:	100
<ul> <li>1 構造体の耐震安全性</li> <li>2 建物付属設備の耐震対策の妥当</li> </ul>	項目名英文:	* 
<ul> <li>■ 3 家具の耐震対策の妥当性</li> <li>■ 4 外構の耐震対策の妥当性</li> </ul>	項目説明英文:	
□ F1-2-3 耐風安全性		
<ul> <li>■ 1 構造体の耐風安全性</li> <li>■ 2 建物付属設備・外構の耐風安全性</li> </ul>	1 地震災害の回避性。A.	A 更新を実行する

### 6.7 建物評価選択肢の更新

評価項目の選択肢の更新は、ラジオボタン"選択肢の編集"を選んだ状態で行います。 ラジオボタン「選択肢の編集」を選択すると、その評価項目に既に定義されている選択肢 が一覧表示され、すべて更新可能となります。

- 評価項目設定内容の上右にあるラジオボタンで、更新を選択します。(デフォルトは更新になっています。)
- ② 修正するグレードの修正するフィールドのすべてに、修正入力します。
- ③ 「更新を実行する」ボタンをクリックして登録します。

FM Evaluation System					
評価トップページへ このサイトについて 複	数建物統計 評	価項目管理 データ管	管理		
評価項目の"リー表示 展開 1 2 3 開 閉 ↓↑ トップの移動 上の項目 選択項目	評価項目よった。 対象: 2012年 更新の場合、左の 対象項目の場合、	ンス サンプル評価セッション ツリービューから項目をご選り 選択時の編集も可能です。第	Rください。該当の項目を編集 所規入力の場合は、新規作成5	できます。選択された項 ジオボタンを選択すると	目が入力 評価項目
■ Fファシリティ評価総合	↓カフォームが表示	示されます。 第二回 遅択時の編集			
□ F1 信頼性•安全性		57C 0 1251/03.00/04697C	() 更新 (	○新規作成 ○ 削除	>
□ F1-1 敷地の安全性					
E1-1-1 数地の目然災害の回避性	1 地震災害の回避	性	<	更新を実行する	
( 1地震災害の回避性 )	選択肢内容の詳細	ſ			*
21砂災害の回避性	グレード1	-	<b>深根時No</b> :	1	
■ 3 浸水災害の回避性 □ ct 1 2 数物の安全社内社	18245	2014 (L.O. T 2014 LV T 11		71.7 00	
■ 1 動物の地盤安定性の確認	進伏內容:	液体化化の可能性がのり	、かし、主要活動層へ接近)	2 (MO° RR	2
2 緊急時の避難および敷地へのアク セス性	選択内容英文:				-
■ 3 敷地周辺の危険物との距離					Ŧ
□ F1-2 建物の安全性	選択集計値:	1.0000	表示順No: 1		
■ F1-2-1 構造体の安全性	ガレード 2		192 4m 8 4m 7	2	-
■ 1 基礎の構造的安全性の確認			1. Soli 文化 的复数	2	
■ 2 常時床倚重に対する安全性の確認 III F1-2-2 耐震安全性	選択内容:	液状化の可能性があり. ている、または確認し	、主要活断層へ接近してい? ていない	るのどちらかに該当し	* *
■ 1 構造体の耐震安全性	選択内容英文:				*
2 建物付属設備の耐震対策の妥当 ■ 性					Ŧ
■ 3 家具の耐震対策の妥当性	選択集計値:	2.0000	表示順No: 2		
■ 4 外構の耐震対策の妥当性					
■ F1-2-3 耐風安全性	クレート 3		選択肢No:	3	
<ul> <li>1構造体の耐風安全性</li> </ul>	選択内容:	液状化の可能性が極め	て少なく、かつ、主要活断	層へ接近していない	*
■ 2 建物付属設備・外構の耐風安全性					Ŧ
□ F1-2-4 副習・副基安全性	選択内容英文:				*
<ul> <li>■ 1 個短1400月積音安主任</li> <li>■ 2 アブローチの雪害対策の采当性</li> </ul>					Ŧ
<ul> <li>■ 3 吹雪対策の妥当件</li> </ul>	選択集計値:	3.0000	表示順No: 3		
<ul> <li>■ 4 屋根雪対策の妥当性</li> </ul>	171 K 4		Ville dan Balan m		
<ul> <li>5 凍結対策の妥当性</li> </ul>	70 11		選択肢No:	4	Ŧ
■ F1-2-5 耐水安全性	項目の新規追加	創除・ツリー構造の変更を行	った場合、最後に 全建		
	物の評価集計再算 SiteAA/OMUp	にすを行ってください。		全建物の評価集計再	実行





#### 6.8 建物評価項目の新規追加

評価項目の新規追加は、ラジオボタン"項目の編集"を選んだ状態で行います。 評価項目を新規に作成すれば、ツリー構造に影響を与えます。新規・更新・削除等すべて の編集をした後の状態が、6.2.の評価項目ツリールールを満たしている必要がありま す。

- ① 評価項目設定内容の上右にあるラジオボタンで、新規作成 を選択します。。
- ② 左ベインの項目ツリーの追加したいところを参照しながら項目表示コード、項目名、 項目説明を」入力します。
- ③ "回答入力項目かどうか"ドロップダウンリストで「回答入力項目」か「集計項目」かを指定します。回答入力項目の場合は必ず評価項目ツリーの末端への追加である必要があります。さらに、JFMES11型の評価体系の場合は、必ずツリー階層の4段目である必要があります。(ファシリティ評価総合を0段目として数えて)



 ④ "上位集計項目"ドロップダウンリストで追加する評価項目を所属させる上位集計 項目を指定します。回答入力項目を追加する場合、JFMES11型の評価体系の場合は、 必ずツリー階層の3段目の集計項目を選びます。(ファシリティ評価総合を0段目 として数えて。下図の ・・、が三個ついている集計項目。)



⑤ 重み係数、表示順Noを整えて、「新規作成を実行する」ボタンを押します。

FM Evaluation System		
評価トップページへ このサイトについて 複数	約統計 評価項目管理 データ管理	
評価項目のツリー表示 展開 1 2 3 開 尚 ↓ ↑ トップの移動 上の項目 選択項目 G F ファシリティ評価総合 G F 2 7 シリティ評価総合 G F 2 7 シリティ評価	評価項目たプナンス 対象:2012年ウンプル書簡化でかるよン 更新の場合、左のツリービューから項目をご選択ください。該当の項目 対象項目の場合、選択技の編集も可能です。新知人力の場合は、新た 人力フォームが表示されます。 ◎ 項目の編集 ◎ 選択肢の編集	を編集できます。選択された項目が入力 作作成ラジオボタンを選択すると評価項目 更新 ◎ 新規作成 ○ 削除
<ul> <li>F1-1 数地の支出性</li> <li>F1-1 数地の支出性</li> <li>F1-1 数地の食気(素の回避性</li> <li>1 地震災害の回避性</li> <li>2 土砂災害の回避性</li> <li>3 浸水(災害の回避性</li> <li>F1-12 数地の安全対応性</li> </ul>	評価項目認定内容 評価項目ID: 20001 項目表示コード: 4 項目名: 建物テスト評価項目	
<ul> <li>1 数地の地盤安定性の確認</li> <li>2 緊急時の避難および数地へのアクセス性</li> <li>2 戦地国にの各隊地にの55%</li> </ul>	<b>項目説明:</b> マニュアル作成用	×
■ 3 駅1回台辺の危険物との距離 ■ F1-2 建物の安全性	回答項目かどうか: 回答入力項目 💌	E
<ul> <li>□ F1-2-1 構造体の安全性</li> <li>1 基礎の構造的安全性の確認</li> <li>2 常時床荷重に対する安全性の確認</li> <li>□ F1-2-2 耐震安全性</li> <li>□ H424commerce24t</li> </ul>	<u>上協業計項目:</u> ・ F1-11 數地の自然災害の 重み係数: 1 0000 表示 欄No: 100	
1 頃頃400両家シェルは     2 建物付属設備の耐震対策の妥当     性     3 家具の耐震対策の妥当性     4 外機の耐震対策の妥当性	项目説明英文:	v v
<ul> <li>□ F1-2-3 前周以全往</li> <li>■ 1 構造体の耐風安全性</li> <li>■ 2 建物付属設備-外構の耐風安全性</li> <li>□ F1-2-4 前電-所裏安全性</li> </ul>	$\langle$	新規作成を実行する
<ul> <li>1 構造体の対積雪安全性</li> <li>2 アブローチの雪害対策の妥当性</li> <li>2 ログマサキの系と地</li> </ul>	頃目の駅JJJE加州間除ッツレー構造の変更を行った場合、最後に全系 物の評価集計再実行を行ってください。	全建物の評価集計再実行
- 3 小 8 つれい安吉社 - 4 屋根雪対策の安当性 - 5 凍結対策の安当性 ■ F1-2-5 耐水安全性 - 1 対浸水の安全性 -		

⑥ 新規の評価項目が作成されたことが、上部に赤字で表示され、左側の項目ツリーの 該当場所に、今追加した評価項目が表示されます。

では、作られた内容を確認するために、ラジオボタン"更新"をクリックして更新 モードにし、項目ツリーで今追加した項目をクリックしてみましょう。

FM Evaluation System				
評価トップページへ このサイトについて 複製	如建物統計 評価項目的	管理 データ管理		
評価項目のツリー表示       展開123開日山1       トップの移動       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・	評価項目大クナンス 対象:2012年サンプの 更新の場合、左の・リービ、 対象項目の場合、違択取 入力フォームが表示されま ③ 項目の編集 〇:	新規作成実行しました。 新規作でション コーから項目をご選択ください。該 編集も可能です。新規大方の「島 す。 選択肢の編集	当の項目を編集できます。選択 含は、新規作成ラジオオタンを違 の更新 ④ 新規作成 (	された項目が入力 厳択すると評価項目 ●創除
□ F1-1 敷地の安全性 □ F1-1-1 敷地の自然災害の回避性	評価項目設定内容			
	評価項目ID: 項目表示コード:	20002		
<ul> <li>2 土砂災害の回避性</li> <li>3 浸水災害の回避性</li> </ul>	項目名:			*
<ul> <li>■ F1-1-2 敷地の安全対応性</li> <li>■ 1 敷地の地盤安定性の確認</li> <li>■ 2 緊急時の避難および敷地へのアク</li> </ul>	項目説明:			A 
<ul> <li>セス性</li> <li>3 敷地周辺の危険物との距離</li> </ul>	回答項目かどうか:	集計項目	•	
■ F1-2 建物の安全性	上位集計項目:	未選択		
□ F1-2-1 構造体の安全性	重み係数:	1 0000		
■ 1 基礎の構造的安全性の確認	表示順No:	100		
■ 2 常時床荷重に対する安全性の確認	**************************************	100		
■ F1-2-2 耐震安全性	項目名英文:			*
<ul> <li>1構造体の耐震安全性</li> <li>2建物付属設備の耐震対策の妥当</li> <li>性</li> </ul>	項目説明英文:			*
<ul> <li>■ 3 家具の耐震対策の妥当性</li> <li>■ 4 外機の耐震対策の妥当性</li> </ul>				*
□ F1-2-3 耐風安全性				
■ 1 構造体の耐風安全性			新規作成	を実行する
■ 2 建物付属設備·外構の耐風安全性	rg Ff 小苑(北)台市の名印合。い	山。難法の亦再た谷。た祖へ、長	Kan- 凸78	
□ F1-2-4 耐雪·耐寒安全性	物の評価集計再実行を行	ッてください。	全建物の評	価集計再実行
■1構造体の対積雪安全性				
■ 2 アブローチの雪害対策の妥当性				
<ul> <li>3 吹雪対策の妥当性</li> </ul>				
■ 4 屋根雪対策の妥当性				
<ul> <li>5 凍結対策の妥当性</li> <li>C C1 2 C 型状でへ進</li> </ul>				
□ F1-2-5 顺水安全性 +				

⑦ 入力した通りの内容が表示されます。 では、自動作成された選択肢の内容を見てみましょう。

FM Evaluation System	
評価トップページへ このサイトについて 複製	S建物統計 評価項目管理 データ管理
	新田田大子大工         加速       2012年9レブル製催セシンの         東京の場合、左のツルセムーから項目をご選択代さい。該省の項目を編集できます。選択だいた項目が入力 対象項目の場合、当別技の編集       ● 夏新 ● 加速なり高度         ● 項目の編集 ● 通知技の編集       ● 夏新 ● 新規作成 ● 前除         ア価項目設定内容       ● 夏新 ● 新規作成 ● 前除         評価項目D: 項目表示コーレ 4 環目数:       ● 夏新 ● 新規作成 ● 前除         項目説:       20001         項目認知:       ● 夏新 ● 新規作成 ● 前除         プロセットの場合に、新規作成 ● 前除       ● 前除         プロセットの       ● 夏新 ● 新規作成 ● 前除         プロセット       ● 夏新 ● 新規作成 ● 前除         「「日本市」」       ● 夏新 ● 第         「「日本市」」       ● 「日本市」」         「「日本市」」       ● 「日本市」」」         「「日本市」」       ● 「日本市」」         「「日本市」」       ● 「日本市」」         「「日本市」」       ● 「日本市」」         「「日本市」」       ● 「日本市」」         「「日本市」」       ● 「日本市」」
<ul> <li>2.建物7集設備の前常対策の妥当 住         <ul> <li>3.家具の耐震対策の妥当性</li> <li>4.外場の前常対策の妥当性</li> <li>F1-2-3 前周安全性</li> <li>1.得流体の耐風安全性</li> <li>3.落かせ6形成の共体の目の空かせ</li> </ul> </li> </ul>	項目説明英文: 4 建物方式N評価項目 更新を実行する
<ul> <li>2 建築物(準振記論) 外積(の)的周安全性</li> <li>F1-2-4 耐害・耐寒安全性</li> <li>1 構造体の対積雪安全性</li> <li>2 アプローチの雪害対策の妥当性</li> <li>3 吹雪対策の妥当性</li> <li>4 屋球営対策の妥当性</li> <li>5 凍結対策の妥当性</li> <li>5 凍結対策の妥当性</li> </ul>	項目の新規途加一削除・ツルー構造の変更を行った場合、最後に 全建 物の評価集計再変行を行ってください。 全建物の評価集計再変行

⑧ 項目ツリーで今追加した項目をクリックした状態で、ラジオボタン"選択肢の編集"を選択します。すると、以下のように、グレード1~グレード5の選択肢が、デフォルトで作成されていることがわかります。以下、必要であれば、6.7.の方法で、各選択肢の選択内容欄を修正して更新します。

FM Evaluation System				
評価トップページへ このサイトについて 複	数建物統計 評价	亜項目管理 データ管	管理	
<b>詳師項目のツリー表示</b> 展開 1 2 3 開 日 : 1 トップの移動 上の項目 選択項目 GF7アシリティ評価総合 GF1信頼性・安全性 GF1信頼性・安全性	評価項目とテナン 対象: 2012年1 更新の場合、左のジ 対象項目の場合、近 入方フォームが表示 ○ 項目の編3	/ス オンプル評価セッション ルービューから項目をご選 <u>継択肢の編集</u> も可能です。 結れます。 集 ◎ 選択機の編集	択ください。該当の項目を編集 所規入力の場合は、新規作成う ● 更新 《	できます。道統された項目が入力 ジオボタンを選択すると評価項目 ○新規作成 ○創除
□ F1-1-1 敷地の自然災害の回避性	4 建物テスト評価項	iel		更新を実行する
● 4建物テスト評価項目	選択肢内容の詳細			· ·
<ul> <li>1 地震災害の回避性</li> <li>2 + もが生け回避性</li> </ul>	グレード1		選択肢No:	1
■ 3 浸水災害の回避性	選択内容:	低い		
■ F1-1-2 敷地の安全対応性	/			-
<ul> <li>1 敷地の地盤安定性の確認</li> <li>2 緊急時の避難および敷地へのアク セン性</li> </ul>	選択内容英文:			
■3 敷地周辺の危険物との距離	選択集計値:	1.0000	表示順No: 1	
□ F1-2 建物の安全性	ガレードク		122 des Bales 7	
■ F1-2-1 構造体の安全性		and the second s	通行放いる	2
<ul> <li>1 ※ 疑い構造的女生任い確認</li> <li>2 常時床荷重に対する安全性の確認</li> </ul>	選択内容:	やや低い		<u>,</u>
□ F1-2-2 耐震安全性	選択内容英文:			
<ul> <li>■ 1 構造体の耐震安全性</li> </ul>				-
■ 2 建物付属設備の耐震対策の妥当 性	選択集計値:	2.0000	表示順No: 2	
<ul> <li>■ 3 家具の耐震対策の妥当性</li> <li>■ 4 外構の耐震対策の妥当性</li> </ul>	グレード 3		選択肢No:	3
<ul> <li>F1-2-3 耐風安全性</li> <li>1 構造体の耐風安全性</li> </ul>	選択内容:	標準		÷ /
■ 2 建物付属設備·外構の耐風安全性	選択内容英文:			^
□ F1-2-4 耐雪・耐寒安全性 ■ 1 構造体の対策電気会性				/
<ul> <li>2アプローチの雪害対策の妥当性</li> </ul>	選択集計値:	3.0000	表示順No: 3	
<ul> <li>3 吹雪対策の妥当性</li> <li>4 屋根雪対策の妥当性</li> </ul>	BK-K4		選択肢No:	4 -
<ul> <li>5 凍結対策の妥当性</li> </ul>	項目の新規追加市	<b>那余・ツリー・構造の変更を行</b>	うった場合、最後に 全建	
□ F1-2-5 耐水安全性	物の評価集計再実	れを行ってください。		全建物の評価集計再実行

### 6.9 建物評価項目およびその選択肢の削除

評価項目の削除は、まず、その評価項目の選択肢の削除から行います。選択肢が存在する 評価項目は、削除できません。 評価項目を削除すれば、ツリー構造に影響を与えます。新規・更新・削除等すべての編集 をした後の状態が、6.2.の**評価項目ツリールール**を満たしている必要があります。

# 6.9.1 建物評価選択肢の削除

- 削除対象の評価項目を選択した状態で、ラジオボタン"選択肢の編集"を選択します。
- ② 上右にあるラジオボタンで、削除を選択します。すると、リストされている選択肢の各グレードの中に、「削除する」チェック欄が表示されます。。

FM Evaluation System							
評価トップページへ このサイトについて 複	数建物統計 評	西項目管理	データ管理				
評価項目のツリー表示 展開 1 2 3 開 閉 ↓ ↑ トップの移動 上の項目 選択項目	評価項目た、テナン 対象: 2012年 更新の場合、左のツ 対象項目の場合、違 入力フォームが表示	<b>/ス サンプル評価セッ</b> リービューから現 選択肢の編集も可 されます。	<b>ション</b> 〔目をご選択くださ 〕能です。新規入力	い。該当の項目を編 1の場合は、新規作所	果できます。 選邦 なうジオボタンを	Rされた項目が、 選択すると評価	入力 項目
<ul> <li>F ファシリティ評1曲総合</li> <li>F に 信頼性・安全性</li> </ul>	◎ 項目の編録	巣 ◎ 選択肢の約	編集		0	0 mm	
□ F1-1 敷地の安全性				◎ 更新	◎ 新規作成	◎ 削除	$\checkmark$
<b>9 51-1-1 数地の自然炎害の回避性</b>	4 建物テスト評価項	间			削除を	実行する	
	選択肢内容の詳細						<u> </u>
<ul> <li>12点気気音の回避性</li> <li>2土砂災害の回避性</li> </ul>	グレード1			選択肢No:	1		
■ 3 浸水災害の回避性	選択内容:	低い					
□ F1-1-2 敷地の安全対応性						-	
<ul> <li>1 敷地の地盤安定性の確認</li> <li>2 緊急時の避難および敷地へのアク</li> </ul>	選択内容英文:					^	
■ 3 敷地周辺の危険物との距離	選択集計値:	1.0000	表示	☆順No: 1	(	■ 削除する	
□ F1-2 建物の安全性	80 . 1° 0						=
□ F1-2-1 構造体の安全性	200 F 2			選択肢No:	2		
■ 1 基礎の構造的安全性の確認	選択内容:	やや低い				A	
■ 2 常時床倚重に対する安全性の確認						-	
■ FI-2-2 IN展安全性 ■ 1 構造体の耐雪安全性	選択内容英文:					A	
- 1構造体の耐震気主任 - 2 建物付属設備の耐震対策の妥当 性	選択集計値:	2.0000	表示	☆順№: 2		■削除する	$\supset$
<ul> <li>3 家具の耐震対策の妥当性</li> <li>4 外構の耐震対策の妥当性</li> </ul>	グレード 3			選択肢No:	3		
<ul> <li>F1-2-3 耐風安全性</li> <li>1 構造体の耐風安全性</li> </ul>	選択内容:	標準				A	
<ul> <li>■ 2 建物付属設備・外構の耐風安全性</li> <li>□ F1-2-4 耐雪・耐寒安全性</li> </ul>	選択内容英文:					^	
■ 1 構造体の対積雪安全性	選択集計値:	3.0000	表示	∩順No: 3	(	副前除する	
<ul> <li>2 アブローチの雪害対策の妥当性</li> <li>2 pb 雪が筋のジャル</li> </ul>							
<ul> <li>3 広告対東の女白注</li> <li>4 屋根電対策の妥当性</li> </ul>	グレード 4			選択肢No:	4		Ŧ
<ul> <li>■ 5 凍結対策の妥当性</li> </ul>	項目の新規追加背	明除・ツリー構造(	の変更を行った場 a.v	合、最後に全建	全建物の調	四年計画室行	
□ F1-2-5 耐水安全性 +		11 611 2 C VCC			主)(三1/30/2)音	비교자하다옷이	

③ 削除したい選択肢の「削除する」チェック欄にチェックマークを入れます。
 選択肢をすべて削除するには、グレード1~グレード5のすべての「削除する」
 チェック欄にチェックを入れます。

④ 「削除を実行する」ボタンをクリックします。

FM Evaluation System					Î
評価トップページへ このサイトについて 複製	汝建物統計 I平	価項目管理 デー	· ダ管理		
<b>評価項目のツリー表示</b> 展開 1 2 3 開 間 」 ↑ トップの移動 上の項目 選択項目 G F ファシリティ評価総合	評価項目よっテナ: 対象: 2012年 更新の場合、左の 対象項目の場合、: 人力フォームが表述	ンス サンプル評価セッション ツリービューから項目をご 選択肢の編集も可能です 示されます。 第一の漫な明まの漂準	一選択ください。該当の項目を編集 た。新規入力の場合は、新規作成	できます。選択された項目が入力 ラジオボタンを選択すると評価項目	
□ F1 信頼性·安全性		未 ③ 通び肌の病未		◎ 新規作成 💿 削除	
□ F1-1 敷地の安全性	A relation - 1 Defense				
	4 建初アスト計画	具目		削除を実行する	$\mathcal{P}$
	<b>濯枳集計値</b> :	2.0000	表示順No: 2	「御除する」	
<ul> <li>■ 2 土砂災害の回避性</li> </ul>	ALL COMPANY ALL C				Ш
<ul> <li>3 浸水災害の回避性</li> </ul>	グレード 3		選択肢No:	3	
□ F1-1-2 敷地の安全対応性	译択内容:	標準		A	
<ul> <li>1 敷地の地盤安定性の確認</li> <li>2 緊急時の避難および敷地へのアク</li> </ul>				~	
	選択内容英文:			~	Ξ
■3 敷地局辺の危険物との距離	100 444 444 5 1 444	2.0000			
□ F1-2 建初切安全性	選択(朱訂]世:	3.0000	\$\$(77)周1/10: 3		
<ul> <li>■ 1 基礎の構造的安全性の確認</li> </ul>	グレード 4		選択肢No:	4	
■ 2 常時床荷重に対する安全性の確認	122 data sebartita -	16.16.791 L	A200 (82.0 * * * * *		Ш
□ F1-2-2 耐震安全性	選択内容:	1,1,101(1)		<u>_</u>	Ш
<ul> <li>1構造体の耐震安全性</li> <li>2 建物付属設備の耐震対策の妥当</li> </ul>	選択内容英文:			×	
■ 3 家具の耐震対策の妥当性	選択集計値:	4.0000	表示順No: 4	図削除する	
■ 4 外構の耐震対策の妥当性					
□ F1-2-3 耐風安全性	グレード 5		選択肢No:	5	
■ 1 構造体() 耐風安全性 ■ 2 建物は尾砂(備, 以進の) 配 中へは	選択内容:	高い		A	
<ul> <li>■ 2 処-1001病設備: 20博の前周安室11: ■ F1-2-4 耐雪・耐寒安全性     </li> </ul>				-	
■ 1構造体の対積雪安全性	選択内容英文:			A	
■ 2 アプローチの雪害対策の妥当性					
■ 3 吹雪対策の妥当性	選択集計値:	5.0000	表示順No: 5	(	
■ 4 屋根雪対策の妥当性				-	
■ 5 凍結対策の妥当性	項目の新規追加す	削除・ツリー構造の変更 2分な分ってくだわ、	を行った場合、最後に全建	分離物の評価集計事実行	L
https://www.alpha-associate-ssl.com/FMEvaluationWebS	iteAA/QMUp	ensup ( //:64.9		主xthdWath画朱訂符先门	

⑤ 上部に削除しました と表示され、選択肢が削除されました。すべて削除した時は、 下図のように、選択肢内容の詳細部分が空になります。

FM Evaluation System					
評価トップページへ このサイトについて 複	奴建物統計 評価	項目管理 データ	管理		
計師項目のツリー表示 展開 1 2 3 開 計 ↓ ↑ トップの移動 上の項目 選択項目	評価項目大・テナン: 対象: 2012年サ 更新の場合、左のツリ 対象項目の場合、選 入力フォームが表示:	ス	Rください。該当の項目を 所規入力の場合は、新規化	編集でさます。選択された項目が入力 F成ラジオボタンを選択すると評価項目	
□ F1 信頼性·安全性 _	◎ 項目の編集	◎ 選択肢の編集	◎ 更	新 ○ 新規作成 ◎ 削除	
□ F1-1 敷地の安全性 □ F1-1-1 敷地の自然災害の回避性	4 建物テスト評価項目	1		削除を実行する	
<ul></ul>	選択肢内容の詳細	•		Infinitizen 19 a	
<ul> <li>2 土砂災害の回避性</li> <li>3 浸水災害の回避性</li> <li>FL-1-2 数地の安全対応性</li> <li>1 数地の地盤安定性の確認</li> <li>2 緊急時の避難および敷地へのアク</li> </ul>					
<ul> <li>セス性</li> <li>3 敷地周辺の危険物との距離</li> <li>□ F1-2 建物の安全性</li> </ul>					1
□ F1-2-1 構造体の安全性					
<ul> <li>1 基礎の構造的安全性の確認</li> <li>2 常時床荷重に対する安全性の確認</li> </ul>					
□ F1-2-2 耐震安全性					
<ul> <li>■ 1 構造体の耐震安全性</li> <li>■ 2 建物付属設備の耐震対策の妥当</li> <li>性</li> </ul>					
■ 3 家具の耐震対策の妥当性					
■ 4 外構の耐震対策の妥当性 ■ F1-2-3 耐風安全性					
■ 1 構造体の耐風安全性					
■ 2 建物付属設備·外構の耐風安全性					
<ul> <li>□ F1-2-4 町雪・町寒安全性</li> <li>■ 1 構造体の対積雪安全性</li> </ul>					
<ul> <li>■ 2 アプローチの雪害対策の妥当性</li> </ul>					
■ 3 吹雪対策の妥当性					
■ 4 屋根雪対策の妥当性	12 LT 2540 6.4 00	A. will the strands	2		
■ 5 凍結対策の妥当性	項目の新規追加作削物の評価集計再実行	☞ ツリー 博造の変更を行 移行ってください。	った場合、 岐夜に 全建	全建物の評価集計再実行	ŀ
https://www.alpha-associate-ssl.com/FMEvaluationWeb	teAA/QMUp				

## 6.9.2 建物評価項目の削除

- ① 削除対象の評価項目を選択した状態で、ラジオボタン"項目の編集"を選択します。
- ② 上右にあるラジオボタンで、削除を選択します。すると、評価項目設定内容の中に、「削除する」チェック欄が表示されます。。

FM Evaluation System				-
評価トップページへ このサイトについて 後	数建物統計	目管理 データ管理		
評価項目のソリー表示 展開 1 2 3 開 日 ↓ ↑ トップの移動 上の項目 選択項目 G F ファシリティ評価総合 G F 1 信頼性・安全性	評価項目た・テナンス 対象:2012年ウンブ 更新の場合、左のツリー 対象項目の場合、選択 入力フォームが表示され ④項目の編集(	の上評価セッション ビューから項目をご避沢ください。話 気の編集も可能です。新規入力の場 ます。 ) 選択肢の編集	炎当の項目を編集できます。選 合は、新規作成うジオボタンを のののので、「「「「」」の「「」」の「」」の「「」」の「」」の「「」」の「「」」	研られた項目が入力 分選択すると評価項目 ◎ 削除
□ F1-1 敷地の安全性 □ F1-1 敷地の安全性	評価項目設定内容			<
	評価項目ID: 項目表示コード: 項目名:	<mark>20001</mark> 4 建物テスト評価項目		創除する
<ul> <li>■ 3 浸水炎害の回避性</li> <li>□ F1-1-2 敷地の安全対応性</li> <li>■ 1 敷地の地盤安定性の確認</li> <li>2 緊急時の避難および数地へのアク</li> </ul>	項目説明:	マニュアル作成用		• •
セス性 ■ 3 敷地周辺の危険物との距離	回答項目かどうか:	回答入力項目	•	E
□ F1-2 建物の安全性	上位集計項目:	・・・ F1-1-1 敷地の自	然災害の回避性	•
<ul> <li>■ F1-2-1 構造体の安全性</li> <li>■ 1 基礎の構造的安全性の確認</li> <li>■ 2 常時床荷重に対する安全性の確認</li> </ul>	重み係数: 表示順No:	1.0000 100		
□ F1-2-2 耐震安全性	項目名英文:			*
<ul> <li>1 構造体の耐震女室性</li> <li>2 建物付耦設備の耐震対策の妥当</li> <li>1性</li> <li>3 家具の耐震対策の妥当性</li> </ul>	項目説明英文:			7 4 7
<ul> <li>4 外積の耐震対策の妥当性</li> <li>F1-2-3 耐風安全性</li> <li>1 構造体の耐風安全性</li> <li>2 決体の耐風安全性</li> </ul>	4 建物テスト評価項目		削除	を実行する
<ul> <li>2 建物门器設備 //構め間例(成支主)主</li> <li>F1-2-4 耐雪・耐寒安全性</li> <li>1 構造体の対積電安全性</li> </ul>	項目の新規追加・削除・ 物の評価集計再実行を	ツリー構造の変更を行った場合、最 行ってください。	後に 全建 全建物の	評価集計再実行
<ul> <li>2 アプローチの富害対策の妥当性</li> <li>3 吹雪対策の妥当性</li> <li>4 屋根雪対策の妥当性</li> <li>5 凍結対策の妥当性</li> </ul>				
□ F1-2-5 剛水安全性				

③ 「削除する」チェック欄にチェックマークを入れ、「削除を実行する」ボタンをク リックします。

下図のように、削除されましたの表示とともに、評価項目が削除され、左側の評価 項目ツリーにも表示されなくなりました。



#### 6.10 全建物の評価集計再実行

ツリー構造および集計値に影響を与えるような一連の評価項目の編集を行った後は、必 ず、全建物の評価集計再実行を行います。そうしないと、集計値が正しく表示されませ ん。

ツリー構造および集計値に影響を与えるような編集とは、評価項目の新規追加・削除を 行った場合、および、評価項目の更新のみだが、一か所でも、上位集計項目の変更・項目 種類の変更・重み係数の変更・選択肢の選択集計値の変更を行った場合です。 全建物の評価集計再実行を行う前に、新規追加・更新・削除等すべての編集をした後の状 態が、6.2.の評価項目ツリールールを満たしているかどうかよく確認してください。 満たしているならば、全建物の評価集計再実行を行います。満たしていない場合は、満た すよう評価項目体系を修正してください。

全建物の評価集計再実行の実行方法は、以下の通りです。

- 評価項目メンテナンス画面の左側ベインで任意の評価項目を選択します。(ファシリ ティ評価総合項目でよい。)
- ② 右側ベインの下部の、全建物の評価集計再実行ボタンをクリックします。集計処理が 始まります。処理時間は建物数に比例し、数十分かかる場合もあります。

評価トップページへ このサイトについて れ	复数建物統計 評価項	目管理 データ管理	
<b>評価項目のツリー表示</b> 展開 1 2 3 開 閉 ↓ ↑ トップの移動 上の項目 選択項目	評価項目メンテナンス 対象: 2012年サン: 更新の場合、左のツリー 対象項目の場合、選択別	<b>7.評価セッション</b> ビューから項目をご選択ください。該当の項目を編集でき 衣の編集も可能です。新規入力の場合は、新規作成ラジ:	ます。選択された項目が入力 オボタンを選択すると評価項目
	入力フォームが表示され	ます。 ◎ 更新 <sup>(</sup> ) 書	所想作成 ① 削除
F1 信頼性·安全性			
■ F1-1 敷地の安全性	評価項目設定内容		
□ F1-1-1 敷地の自然災害の回避性	評価項目ID:	20000	
■ 1 地震災害の回避性	項目表示コード:	F	
<ul> <li>2 土砂災害の回避性</li> </ul>	項目名:	ファシリティ評価総合	*
<ul> <li>3 浸水災害の回避性</li> </ul>			-
□ F1-1-2 敷地の安全対応性	項目證明:	ファシリティ評価の総合値	*
<ul> <li>1 敷地の地盤安定性の確認</li> </ul>			
2 緊急時の避難および敷地へのアク セン性			Ŧ
■3数地周辺の余餘物との距離	回答項目かどうか:	集計項目	
■ F1-2 建物の安全性			
■ F1-2-1 構造体の安全性		4 0000	
■ 1 基礎の構造的安全性の確認	里の加強	1.0000	_
2常時床荷重に対する安全性の確認	表示順No:	0	
■ F1-2-2 耐震安全性	項目名英文:		*
■ 1 構造体の耐震安全性			-
■ 2 建物付属設備の耐震対策の妥当 性	項目説明英文:		^
<ul> <li>3 家具の耐震対策の妥当性</li> </ul>			<b>v</b>
<ul> <li>4 外構の耐震対策の妥当性</li> </ul>			
□ F1-2-3 耐風安全性	E THAN ILL SEARCH		■転ま空にする
<ul> <li>1構造体の耐風安全性</li> </ul>	F ノアンリアイ計画総合		更新で実行する
■ 2 建物付属設備・外構の耐風安全性	項目の新規追加・削除・	ツリー構造の変更を行った場合、最後に全建	
□ F1-2-4 耐雪·耐寒安全性	物の評価集計再実行を	行ってください。	全建物の評価集計再実行
<ul> <li>■ 1 構造体の対積雪安全性</li> </ul>			
<ul> <li>2 アブローチの雪害対策の妥当性</li> </ul>			
<ul> <li>3 吹雪対策の妥当性</li> </ul>			
<ul> <li>4 屋根雪对策の妥当性</li> </ul>			
<ul> <li>5 凍結対策の妥当性</li> </ul>			
□ F1-2-5 耐水安全性			

③ 現在の評価項目ツリー構造に基づいて、全建物の評価再集計を行いました。集計値 は正確です。

FM Evaluation System				
評価トップページへ このサイトについて	複数建物線	統計 評価項目管理	データ管理	
<b>詳価項目の20)-表示</b> 原用 1 2 3 開 前 ↓ ↑ トップの移動 上の項目 選択項目 ■ <u>F1 信頼</u> 性・安全性 ■ F1-1 敷地の自然災害の回避性 ■ 1.1 電気に書の回避性	<b>評価</b> 変新 素 大 大 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二	<b>項目たテアンス 全価 (法:2012年79、20.27年6</b> の場合、左のツルービューが 項目の場合、送択肢の編集 フォームが表示されます。 <b>項目設定内容</b> 単項目D: 2000 書表示コード: F	建物の評価集計を再 セッション ら項目をご避分くださ も可能です。新規入 10	葉葉(れ) 乱た。
■ 2 土砂災害の回避性 ■ 3 浸水災害の回避性	項目	1名: ファ	シリティ評価総合	*

# 7. 詳細説明PDFアップロード

評価入力に際し、評価項目の詳しい内容と選択肢の意味は、 説明用のPDFファイルにて 評価者に表示されます。



説明用のPDFファイルを独自に作成した場合、それをサイトにアップロードして評価項 目に紐づけする必要があります。 詳細説明PDFアップロードページは、評価項目に紐 付けしながら、詳細説明用のPDFファイルのアップロードを行うページです。 なお、サ ンプルとして提供されているJFMES11の評価項目を変更せずそのまま使用する場合は、 団体定数設定で、標準評価項目を使用する設定を行うことで、システム標準の既存のPDF ファイルが表示に使用されるため、 別途詳細説明用のPDFファイルを登録する必要はあ りません。 評価項目の内容を変更して評価を実施する場合に、このページを使用して、 使用するPDFファイルをアップロードします。アップロードされたファイルは標準PDF よりも優先して表示されます。

# 7.1 詳細説明PDF表示の優先順位

詳細説明PDFは、以下のような優先順位により検索されて、表示されます。

- 1. 現在のセッションの選択した評価項目に紐付けられているPDFがあればそれ を表示します。なければ、選択した評価項目の一段上位の評価項目に紐付けら れたPDFがあれば、それを表示します。なければ、
- 使用することをセッション定数で指定している他のセッションの選択した評価 項目に紐付けられているPDFがあればそれを表示します。なければ、選択し た評価項目の一段上位の評価項目に紐付けられたPDFがあれば、それを表示 します。なければ、
- 3. 団体標準として、選択した評価項目に紐付けられているPDFがあればそれを 表示します。なければ、選択した評価項目の一段上位の評価項目に紐付けられ たPDFがあれば、それを表示します。なければ、
- 使用することをセッション定数で指定したサンプルコントラクトのセッション の選択した評価項目に紐付けられているPDFがあればそれを表示します。な ければ、選択した評価項目の一段上位の評価項目に紐付けられたPDFがあれ ば、それを表示します。なければ、
- 5. システム標準として、選択した評価項目に紐付けられているPDFがあればそれを表示します。なければ、選択した評価項目の一段上位の評価項目に紐付けられたPDFがあれば、それを表示します。
- 6. それでもなければ、表示しません。

いくつかの典型的なケースをご紹介します。

ケース①: JFMES11 の評価項目体系用のPDFは、システム標準として、登録されています。通常、JFMES11 の評価項目体系をそのまま使用する新規セッションAを作成した場合、上記の1~4は全て無しとなり、5に従って、JFMES11 の評価項目体系用のPD Fが選択され、表示されます。

**ケース②**:団体により、JFMES11 の評価項目体系を修正して使用するときは、通常、団体標準のPDFとして、内容修正した評価項目用のPDFをアップロードします。そうすることで、上記3により、団体内のセッションAをはじめとする全セッションで共通の団体独自のPDFを使用することができます。(内容修正しない評価項目に関しては、PDFアップロードをしなければ、上記5により、システム標準であるJFMES11 のPDFが表示されます。)

ケース③:時代の変化等により、特定の評価項目について、新しいセッションBでは今までとは異なる内容の評価項目を採用した場合には、そのセッションB用にPDFを アップロードすることで、上記1により、そのPDFが表示されます。

**ケース④**:その後のセッションCで、セッションBの、変更後のPDFを使用したい場 合は、セッションCのセッション定数で、セッションBを「使用するPDFがあるセッ ション」として設定しておくことで、上記2により、そのPDFが表示されます。

このように、本システムでは、詳細説明用のPDF検索優先順位を階層化することで、 団体やセッションごとに、同じPDFを多数登録する手間と無駄を排除しています。こ の機能を上手に使い、団体に最も適した評価項目体系と詳細説明PDFを使用して、効 率のより評価を実施してください。

なお、セッション定数の設定変更の詳細に関しては、「管理者マニュアルデータ管理 編」をご参照ください。

# 7.2 詳細説明PDFアップロードページの表示

詳細説明PDFアップロードページは、以下の手順で表示します。

 上部メニューの評価項目管理をクリックし、詳細説明PDFアップロードをクリック します。

FM Evaluati	on System						
評価トップページへ	このサイトについて	複数建物統計	評価項目管理	データ管理			
評価トップページ			インプラ評価項目;	ペンテナンス			
参照または入力するファシリ	ティの選択を行います。		建物評価項目火	テナンス			
セッションの対象建物が建物	ドロップダウンリストに表示  →オーム・フラの選択をご使用	れていますので、対当 12だかい	詳細説明PDFアッ	プロード 🕅	すると、インマラは自動	助的に選択されます。	
建物の選択したす場合	vak コンフランルED//とこした	ロハンビィ。	詳細語に用いて言語の	<u>h</u>			
25館設計	R	• • • • • • • • • • • • • • • • • • •		21.7.7.		セッション変更へ	

- ② 詳細説明PDFアップロードページが表示されます。
  - アップロードの手順は、
    - 1. 紐付け先のセッションを選択する。
    - 2. 紐付け先の評価項目の種類を選択する。
    - 3. 紐付け先の評価項目を選択する。
    - 4. アップロードする PDF ファイルを選択する。
    - 5. 重複時の処置を選択する。
    - 6. アップロードの実行

Ti	-1	-
$\sim$	9	0

Ent/m1 0 ->>.	محرية مذافية محرج	ちなましつおばかくがう し	Ent/most of the re-		
評価トップページへ	このサイトについて	複数建物統計	評曲項目管理	データ管理	
詳細説明用PDFマップロー 評価入力に際し、評価項目・ ファイルのアップロードを行う 評価項目を使用する設定を 施する場合に、このページを	<sup>S</sup> 実行ページ DI詳しい内容と選択肢の意い ページです。なお、サンラ 行うことで、既存のPDFファ・ 使用して、使用するPDFフ	味は、説明用のPDFJ ルとして提供されてい イルが使用されるため、 ァイルをアップロードし	<sup>7</sup> アイルにて評価者に るJFMES11の評価項 別途詳細説明用の1 ます。	長示されます。。このページは、評価 目を変更せずそのまま使用する場合 PDFファイルを登録する必要はありま	頃目に紐付けしながら、詳細説明用のPDF は、回体定数 セッション定数設定で、標準 せん。評価項目の内容を変更して評価を実
PDFアップロード					
アップロードする詳細説明 ストから選択します。通常	I用PDFファイルを紐付ける 、選択する評価項目は、入	セッションを選択し、約 力対象項目か、その-	続けて評価項目の種類 →段上の集計項目です	(をラジオボタンで選択し、そのあと、 *。	紐付け対象評価項目をドロップダウンリ
組付け先セッションの選び サンブル評価データコ	沢。 ビーテスト用		註:デフォル すれば、その 標準としてア	、では、現在の対象セッションが選択 ・セッションだけで使用されます。その ップロード」を選択すれば、全てのセ	されています。特定のセッションを指定 2場合、団体標準に優先します。「団体 2ッションで共通に使用できます。
<ul> <li>FM基盤(インフラ)用</li> </ul>	評価項目 🔘 ファシリティ(	建物)用評価項目	PDF7741	が紐付けられる評価項目の種類を過	差択します。
PDFに紐付ける評価項目 未選択	「選択用リスト。◆印の項目)	は既存PDFがあります	注:評価入た  ようとしている  一段上位の  目すべての	画面で詳細説明リンクをクリックしたと 評価項目対象のPDFファイルか、ま 続計項目を対象とするPDFファイルで 説明を記載したPDFファイルを登録し	とき表示されるPDFファイルは、入力し たは、それが存在しない場合は、その ・す。一段上位の項目に下位の入力項 た方が、PDFマップロードの手間を節 ・ないまずません。ついます
次に、以下の参照ボタン	をクリックし、ご使用中のPC	のフォルダーからアップ	#りじさより。 プロードするPDFファイ	リート 選択して、開くボタンをクリックし	のよりお開設となっていより。 こてください。
		参照		のサイズは、10MB以内です。	
最後に、既存PDFファー	形あった場合の処理を許	定してください。			
◎ 既存PDFを上書きす	る ◎ アップロードを中止	する	通常は	上書きします。	
上記設定を行い、PDF7 ます。	ップロード実行ボタンをクリ	ックするとアップロードネ		PDFアップロード実行	実行せずに選択解除

# 7.3 詳細説明PDFアップロードの実行

① まず、アップロードする詳細説明PDFを紐付けするセッションを選択します。特定のセッションを指定すると、アップロードしたPDFは、そのセッションだけで使用されます。その場合、団体標準に優先します。「団体標準としてアップロード」を選択すれば、全ての紐付けPDF登録のないセッションで共通に使用できます。

FM Evaluation System		
評価トップページへ このサイトについて 複数建物統計	評価項目管理	データ管理
詳細説明用PDFフップロード実行ページ 評価入力に際し、評価項目の詳しい内容と選択肢の意味は、説明用のPDFフ・ ファイルのアップロードを行うページです。なお、サンプルとして提供されている 評価項目を使用する設定を行うことで、既存のPDFファイルが使用されるため、 施する場合に、このページを使用して、使用するPDFファイルをアップロードしま	マイルにて評価者に表 JFMES11の評価項目 別途詳細説明用のPi す。	R示されます。。このページは、評価項目に紐付けれながら、詳細説明用のPDF ほ変更せずそのまえ使用する場合は、団体定数・セッション定数設定で、標準 DFファイルを登録する必要はありません。評価項目の内容を変更して評価を実
PDFアップロード		
アップロードする詳細説明用PDFファイルを紐付けるセッションを選択し、続 ストから選択します <del>、通常、選択する評価項目</del> は、入力対象項目か、その一	けて評価項目の種類 没上の集計項目です	をラジオボタンで選択し、そのあと、紀付け対象評価項目をドロップダウンリ 。
細行が先セッションの選択。 サンプル評価データコピーテスト用 - 団体標準としてアップロード - 2012年サンプル評価セッション 2012年サンプル評価セッション	註:デフォルト すれば、その 標準としてアッ	では、現在の対象セッションが選択されています。特定のセッションを指定 セッションだけで使用されます。その場合、団体標準に優先します。「団体 ップロード」を選択すれば、全てのセッションで共通に使用できます。
サンブル評価データコピーテスト用 用評価項目	PDF77411	が紐付けられる評価項目の種類を選択します。

② 続いて、アップロードする詳細説明PDFを紐付けする評価項目の種類を、ラジオ ボタンで選択します。

FM Evaluati	ion System					
評価トップページへ	このサイトについて	複数建物統計	評価項目管理	データ管理		
詳細説明用PDFアップロード実行ページ 評価入力に際し、評価項目の詳しい内容と避況肢の意味は、説明用のPDFファイルにで評価者に表示されます。。このページは、評価項目に紐付けしながら、詳細説明用のPDF ファイルのアップロードを行うページです。なお、サンプルとして提供されているIFMES11の評価項目を変更せずそのま実使用する場合は、団体定数・セッション定数設定で、標準 評価項目を使用する設定を行うことで、既存のPDFファイルが使用されるため、別述詳細説明用のPDFファイルを登録する必要はありません。評価項目の内容を変更して評価を実 施する場合に、このページを使用して、使用するPDFファイルをアップロードします。						
PDFアップロード						
アップロードする詳細説明 ストから選択します。通常	月用PDFファイルを紐付ける 3、選択する評価項目は、入	セッションを選択し、新 、力対象項目か、その一	読けて評価項目の種類 →段上の集計項目です	をラジオボタンで選 。	択し、そのあと、紐付け対象評価項目をドロップダウンリ	
細付け先セッションの選 サンプル評価データコ	択。 コピーテスト用	•	註:デフォル  すれば、その 標準としてア	・では、現在の対象セ セッションだけで使用 ップロード」を選択す	2ッションが選択されています。特定のセッションを指定 日されます。その場合、団体標準に優先します。「団体 れば、全てのセッションで共通に使用できます。	
◎ FM基盤(インフラ)用	評価項目 💿 ファシリティ	(建物)用評価項目	PDFファイル	が紐付けられる評価	頑目の種類を選択します。	
PDFに紐付ける評価項目 未選択	目選択用リスト。◆印の項目	は既存PDFがあります	。 註:評価入力 ようとしている ■ 一段上位の類	画面で詳細説明リン 評価項目対象のPD 副計項目を対象とす?	クをクリックしたとき表示されるPDFファイルは、入力し Fファイルか、または、それが存在しない場合は、その &PDFファイルです。一段上位の項目に下位の入力項	

評価項目の種類を選択すると、その下のドロップダウンリストに、その評価項目のツ リー状のリストが読み込まれます。 ③ 次に、ドロップダウンリストで、アップロードする詳細説明PDFを紐付けする評価項目を選択します。PDFファイルで説明している内容が最下段の回答入力項目の一つのみを対象としている場合は、その項目を選択します。最下段の一つ上位の集計項目に属する回答項目のすべてを対象としている場合は、その集計項目を選択します。(JFMES11はこの方式です。)

ここでは「F1-2-3 耐風安全性」を選んでアップロードしてみます。

評価トップページへ このサイトについて 複数建物	統計 評価項目管理	データ管理	
詳細説明用FDFアップロード実行ページ 評価入力に際し、評価項目の詳しい内容と選択肢の意味は、説明用 ファイルのアップロードを行うページです。なお、サンプルとして提供 評価項目を使用する設定を行うことで、既存のFDFファイルが使用さ 策する場合に、このページを使用して、使用するFDFファイルをアップ	目のPDFファイルにて評価者に されているJFMES11の評価項 れるため、別途詳細説明用の パロードします。	表示されます。。このページは、 目を変更せずそのまま使用する )PDFファイルを登録する必要はあ	評価項目に紹付れながら、詳細説明用のPD 易合は、回体定数 セッシェン定数設定で、標 沙ません。評価項目の内容を変更して評価を
PDFアップロード			
アップロードする詳細説明用PDFファイルを紐付けるセッションを達 ストから選択します。通常、選択する評価項目は、入力対象項目が	観沢し、続けて評価項目の種 か、その一段上の集計項目で	類をラジオボタンで選択し、そのま す。	と、紐付け対象評価項目をドロップダウンリ
細付け先セッションの選択。 サンブル評価データコピーテスト用	註:デフォル すれば、そ 標準として	小では、現在の対象セッションがう のセッションだけで使用されます。 アップロード」を選択すれば、全て	蟇択されています。特定のセッションを指定 その場合、団体標準に優先します。「団体 ′のセッションで共通に使用できます。
<ul> <li>● FM 基盤(インフラ)用評価項目</li> <li>● Jマシリティ(建物)用評価</li> <li>PDFに紐付ける評価項目違規用リスト。◆印の項目は既存PDFが</li> <li>本選択</li> <li>F ファンリティ評価総合</li> <li>F 1:11 数地の安全性</li> <li>・ F1:11 数地の安全性</li> <li>・ 1 地震次害の回避性</li> <li>・ 2 土却淡害の回避性</li> <li>・ 51:11 数地の回避性</li> <li>・ 3 浸水災害の回避性</li> <li>・ 1 数地の回避性</li> <li>・ 1 数地の回避性</li> <li>・ 3 浸水災害の回避性</li> <li>・ 51:1-2 数地の安全が応性</li> <li>・ 3 数地周辺の危険物との距離</li> <li>・ F1:2 建物の安全性</li> <li>・ F1:2-1 構造体の安全性</li> </ul>	項目 PDFファイ.	いが紹行けられる評価項目の種類 加爾面で詳細説明しングをグリッグ 気評価項目対象のPDFファイルが 集計項目を対象とするPDFファイ 源明考記載したPDFファイルを登 、JFMES11用の既存PDFファイル イルを 選択して、開くボタンをグリ しのサイズは、10ME以内です。 ま上書きします。	略選択します。 したとき表示されるPDFファイルは、入力し、 、または、それが存在しない場合は、その ルです。一役上位の項目に下位の入力項 選択た方が、PDFアップロードの手間を節 はそのような構成となっています。 ックしてください。
		PDFアップロード実行	実行せずに避決解除 @Alpha Associate Inc.2012

註:選択したセッションに既存のPDFがある場合は、評価項目ドロップダウンリストの紐付けPDFがある評価項目の名前の先頭に、◆印が表示されます。下図の例では、 入力項目の一つ上の集計項目にPDFが紐付けられていることがわかります。

未選択	ようとしている評価項目対象のPDFファイルか、または、それが存在しない場合は、その 一段上位の準計項目を対象とするPDFファイルです。一段上位の項目に下位の入力項
	へ の説明を記載したPDFファイルを登録した方が、PDFアップロードの手間を節
・ F1 信頼性・安全性	= す。JFMES11用の既存PDFファイルはそのような構成となっています。
· · F1-1 敷地の安全性	-
K · · · F1-1-1◆敷地の自然災害の回避性	ファイルを 選択して、開くボタンをクリックしてください。
<ol> <li>1 地震災害の回避性</li> <li>2 十砂災軍の回避性</li> </ol>	ノルのサノウォーIOMRDI内本オ
· · · · 3 浸水災害の回避性	LINDA ALLVARY LOBINSKA C A 9
· · · F1-1-2◆敷地の安全対応性	
<ul> <li>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	
<ul> <li>2 茶忌時(1)2000000000000000000000000000000000000</li></ul>	常は上書きします。
・ ・ F1-2 建物の安全性	
E · · · F1-2-1◆構造体の安全性	
	PDFアッブロード実行 実行せずに選択解除
↓ 2 予守原何里に対9 る女生性の確認 ・ F12-2◆耐愛安全性	
- ・・・・・ 構造体の耐震安全性	
<ul> <li>・ ・ ・      ・ ・ ・          、          ・ ・          、</li></ul>	

④ 次にアップするPDFファイルを指定します。参照ボタンをクリックします。

PDFに紐付ける評価項目選択用リスト。◆印の項目は既存PDFがあります。 <ul> <li>・</li> <li>・</li> <li>F1-2-3 耐風安全性</li> </ul>	註:評価入力画面で詳細説明レンクをクリックしたとき表示されるPDFファイルは、入力し ようとしている評価項目対象のPDFファイルか、または、それが存在しない場合は、その 一般上位の薬料で項目を対象とするPDFファイルです。一般上位の項目に下位の入力項 目すべての説明を記録したPDFファイルを登録した方が、PDFマクコードの多手間を節 約できます。JFMIS11用の既存PDFファイルはそのような構成となっています。
次に、以下の参照ボタンをグリックし、ご使用中のPCのフォレス・からアックロード 参照	するPBEファイルを 選択して、開くホタンをグリックしてください。 FDFファイルのサイズは、10MB以内です。
載後に、既存FDFクティルかめつと場合の処理を指定しているい。 ● 既存FDFを上書きする ◎ アップロードを中止する	通常は上書きします。
上記設定を行い、PDFアップロード実行ボタンをグリックするとアップロードを実行し ます。	

 ⑤ PC内のファイルを検索するエクスプローラー画面が開きますので、アップロード するPDFファイルの保管場所に移動し、アップロードするファイルを選択し、 "開く"ボタンをクリックします。今回はあらかじめ用意した、標準のPDFに "風対策"とのみ青字で書き込んだ説明PDFをアップロードしてみましょう。

里▼ 新しいフォル	Ø-				
お気に入り	ドキュメント ライブラリ		1	並べ替え: フォル	ダー 🔻
🌡 ダウンロード	EvaluationSystem				
■ デスクトップ	名前	更新日時	種類	サイズ	
- 最近表示した場所		2012/12/31 10.11	Microsoft Excert	12 10	
E		2012/11/16 9:49	MICROSOFT Power	180 KB	
ライブラリ		2012/12/30 15:00	Microsoft Dowor	1 750 KB	
1 K#7 X26		2012/12/30 14.30	Adoba Acrobat	1,739 KB	
	P21230sample.pub	2013/01/22 17:49	Microsoft Publis	755 KB	
	ReportGrandDataA (1) xls	2012/08/16 19:24	Microsoft Excel	57 KB	
	ReportGraghDataA (2).pdf	2012/08/16 19:27	Adobe Acrobat	341 KB	
) ミュージック	testout.xps	2012/06/15 10:02	XPS ド≠ュメント	76 KB	
	testout2.xps	2012/06/15 10:03	XPS ドキュメント	309 KB	
ホームグループ	図 セッション変数一覧.xlsx	2012/10/17 18:21	Microsoft Excel	14 KB	
	■ 型 レコードレイアウト.xls	2012/05/18 17:41	Microsoft Excel	166 KB	
コンピューター 💂	🖳 一つの企業・団体の F M診断評価を行う場合.docx	2012/08/07 16:44	Microsoft Word	14 KB	
ファ	イル名( <u>N</u> ): P21230sample.pdf		- 37.	てのファイル(*.*)	•
				I<( <u>0</u> ) = t	ッシセル
F1-2	-3 朝風安全性 造体の耐風安全性 構造体の耐風安全性を機能するため可容 - 構造体の耐風安全性を機能するために、次のように野能する。				

⑥ アップロード画面に戻り、"参照"ボタン左側のアドレス欄にアップロードするP
 DFファイルのアドレスが書き込まれます。



 ⑦ 最後に、既存PDFがあった場合の処理を指定します。通常は上書きします。その 後、「PDFアップロード実行」ボタンをクリックします。 ⑧ 数秒でアップロードが実行され、結果のコメントが表示されます。



⑨ 実際にアップロードされたかどうか、チェックしてみましょう。 評価トップページに戻り、"建物参照・入力"ボタンをクリックします。表示されたファシリティ評価画面の左側の項目ツリーで「F1-2-3 耐風安全性」を選択し、右側に評価欄を表示します。上部の"評価詳細"リンクをクリックしてみてください。別ページが開き、アップロードしたPDFを参照していることがわかります。

× Google	▼  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●  ●	
FM Evaluation System 評価ップページへ このサイトについて 複数線	総成計 評価項目管理 データ管理	
評価の日本のシント表示         回日         日本の項目         日本の可加         日本の可加	はいたいで、 はいたいでは、 はたの出たり、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 はのは、 は、 は、 はのは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	Note:         Note: <t< th=""></t<>

ストロールのションの、 な言が大きいところ・斜面に沿った地域、遺物密集度が低い、周辺が開けた地域、薬年数が古い、住宅では屋根、商用では関ロ師(窓ガラス) や公共建物では屋根および開口師の被害が多い。

# 8. 詳細説明PDF削除

評価入力に際し、評価項目の詳しい内容と選択肢の意味は、 説明用のPDFファイルにて 評価者に表示されます。



特定のセッションの説明用のPDFファイルを削除したい場合があります。

たとえば、団体標準のPDFを改定した結果、特定セッションでも団体標準のPDFを 使用すればよくなったような場合です。 詳細説明PDF削除ページは、評価項目に紐付 けされている、セッションまたは団体標準の詳細説明用のPDFファイルの削除を行うペー ジです。

# 8.1 詳細説明PDF削除ページの表示

詳細説明PDF削除ページは、以下の手順で表示します。

① 上部メニューの評価項目管理をクリックし、詳細説明PDF削除をクリックします。

FM Evaluati	on System						Î
評価トップページへ	このサイトについて	複数建物統計	評価項目管理	データ管理			
評価トップページ			インフラ評価項目	メンテナンス			11
参照または入力するファシリ	ティの選択を行います。		建物評価項目メン	テナンス			
セッションの対象建物が建物	ドロップダウンリストに表示	されていますので、対象	詳細説明FDFアツ	·クロード <mark>尺す</mark>	すると、インフラは自動的に	こ選択されます。	
インフラのみ通択したい場合	な、インフラの通信をこ1更	#<7:20	詳細説明PDF削約	ŝ	$\geq$		
建物の選択: 2号館設計様	Į.	<ul> <li>インプラの選</li> </ul>		21 4.72	•	セッション変更へ	

② 詳細説明 P D F 削除ページが表示されます。 削除の手順は、

- 1. 削除対象のPDFが紐付けられているセッションを選択する。
- 2. 紐付けられている評価項目の種類を選択する。
- 3. 紐付けられている評価項目を選択する。
- 4. 削除の実行

です。

FM Evaluati	on System				
評価トップページへ	このサイトについて	複数建物統計	評価項目管理	データ管理	
詳細説明用PDF創除実行べ 評価入力に際し、評価項目ののPDFファイルの削除を行う	<b>ニージ</b> つ詳しい内容と選択肢の意 ページです。	味は、説明用のPDF	ファイルにて評価者にま	表示されます。。この	ページは、既に登録されている、不要になった詳細説明用
PDF肯印余					
削除する詳細説明用PDF ストに表示されます。削除	ファイルが紐付けられてい 対象PDFが紐付けられて	るセッションを選択し、 いる評価項目を選択し	その後対象とする評価 、削除の実行ボタンを	ĭ項目の種類をその クリックすることで、I	下のラジオボタンで選択すると、対象評価項目が一覧リ PDFが削除されます。
細付け先セッションの選択 サンブル評価データコ	!。 ビーテスト用	•	註:デフォルト すれば、その 標準としてア: ファイルを削	では、現在の対象セ セッションだけで使用 ップロード」を選択す 給対象とします。	29ションが選択されています。特定のセッションを指定 目されているPDFファイルを削除対象とします。「団体 れば、全てのセッションで共通に使用されているPDF
<ul> <li>FM基盤(インプラ)用</li> </ul>	平価項目 ◎ ファシリティ(	建物)用評価項目	削除対象のP	DFファイルが紐付い	けられている評価項目の種類を選択します。
<ul> <li>削除計象PDF評価総合</li> <li>1 1075評価総合</li> <li>11 リーダーシップ</li> <li>11-11 経営理ジ</li> <li>11-11 F</li> <li>11-11 F</li> <li>11-12 F</li> <li>11</li></ul>	銀に基づいたFMのリーダ Mの経営理念とビジョン・ 営者におけるFMの理念 営者のFMに対するビジ 爆発防サイクル (PDCA) 小戦略におけるPDCAの? ロジェクト管理におけるP 長期案行計画におけるP	シップ 戦略 国ン・戦略 への取組 実践 DCAの実践 DCAの実践	上記の指定: が表示されて リックして選択で	:基づき、左のリストに いる評価項目にPD してください。Ctrl丼 さます。	こ、対象評価項目がツリー状に表示されています。◆印 Pが登録されています。PDFを削除する評価項目をク ・ーまたはShiftキーを押しながらクリックすると、複数の
· · · · · 4 日 · · · · · 11-1-3 臣 · · · · · 1 即 · · · · 2 日 · · · · 3 供	は新来におけるPDCAの) 排評価におけるPDCAの) 排標管理への取組 翔に関する目標管理 約に関する目標管理 給に関する目標管理 給に関する目標管理	zxx xx	リムト上で選加	移行い、PDF削除 PDF削除実行	実行ボタンをクリックすると、選択されたPDFの御師希を実 実行せずに選択解除
					©Alpha Associate Inc. 2012

# 8.2 詳細説明PDF削除の実行

① まず、削除する詳細説明PDFを紐付けているセッションを選択します。特定の セッションを指定すると、そのセッションだけで使用されているPDFを削除でき ます。「団体標準PDF」を選択すれば、全ての紐付けPDF登録のないセッ ションで共通に使用されているPDFを削除できます。

FM Evaluation System	
評価トップページへ このサイトについて 複数建物統計	評価項目管理 データ管理
単純肥砂明用PDF剤除決行ページ 評価入力に際し、評価項目の詳しい内容と選択肢の意味は、説明用のFDFファイ のPDFファイルの剤除を行うページです。	<b>ハルにて評価者に表示されます。。このページは、既に登録されている、不要になった詳細説明用</b>
PDF削卵余	
削除する詳細説明用PDFファイルが紹行けられているセッションを選択し、その ストに表示されます。削除対象PDFが紹行けられている評価項目を選択し、削	ン後対象とする評価項目の種類をその下のラジオボタンで選択すると、対象評価項目が一覧リ リ泳の実行ボタンをクリックすることで、 PDFが削除されます。
<ul> <li>         ・田付け先セッションの道訳。         ・         ・         ・</li></ul>	註:デフォルトでは、現在の対象セッションが選択されています。特定のセッションを指定 すれば、そのセッションだけで使用されているPDFファイルを削除対象とします。「団体 標準としてアップロード」を選択すれば、全てのセッションで共通に使用されているPDF ファイルを削除対象とします。
サンフル¥幅テータコピーテスト用 ● FM基盤(インフラ)用評価項目 ● ファシリティ(建物)用評価項目 削除対象PDF評価項目選択用リスト	削除対象のPDFファイルが組付けられている評価項目の種類を選択します。

② 続いて、削除する詳細説明PDFを紐付けている評価項目の種類を、ラジオボタン で選択します。

FM Evaluati	on System				
評価トップページへ	このサイトについて	複数建物統計	評価項目管理	データ管理	
詳細説明用PDF制除実行。 評価入力に際し、評価項目の のPDFファイルの削除を行う	<b>ページ</b> の詳しい内容と選択肢の意 ページです。	味は、説明用のPDFフ	マイルにて評価者にま	示されます。。この	ページは、既に登録されている、不要になった詳細説明用
PDF削除					
削除する詳細説明用PDF ストに表示されます。 削除	ワァイルが紐付けられてい 統付象PDFが紐付けられて	るセッションを選択し、 いる評価項目を選択し	その後対象とする評価 、削除の実行ボタンを	項目の種類をその「 フレシンフすることで、F	下のラジオボタンで選択すると、対象評価項目が一覧リ PDFが削除されます。
細付け先セッションの選択 「サンブル評価データコ	₨	×	註:デフォルト すれば、その 標準としてアッ ファイルを削り	では、現在の対象セ セッションだけで使用 ップロード」を選択す: 約対象とします。	29ションが選択されています。特定のセッションを指定 目されているPDFファイルを削除対象とします。「団体 れば、全てのセッションで共通に使用されているPDF
◎ FM基盤(インフラ)用	評価項目 💿 ファシリティ(	建物)用評価項目	削除対象のP	OFファイルが紐付い	けられている評価項目の種類を選択します。
削除対象PDF評価項目	選択用リスト				
F ファシリティ評価総 ・F1 信頼性・安全 ・F1-1 敷地の ・・F1-1 敷地の ・・F1-1 ・・・1 ・・・2 ・3 没	合 性 り安全性 敷地の自然災害の回避性 空災害の回避性 ご約災害の回避性 副水災害の回避性	E	<ul> <li>上記の指定に が表示されて リックして選択 項目を選択で</li> </ul>	基づき、左のリストに ふる評価項目にPDI してください。Ctrlキ きます。	C、対象評価項目がツリー状に表示されています。◆印 Fが登録されています。FDFを拘除する評価項目をク ーまたはShittキーを押しながらグリックすると、複数の
· · · F1-1-2 · · · · 1 書 · · · 3 書 · · F1-2 建物の · · F1-2 建物の · · · 1 書 · · · 1 書	敷地の安全対応性 対地の地震安定性の確認 袋息時の避難および数地々 数地周辺の危険物との距離 引安全性 構造体の安全性 基礎の構造的安全性の確認 等時床行重に対する安全!!	へのアクセス性 雌 沼 生の確認	リスト上で選却 行します。	を行い、PDF削除 PDF削除実行	実行ボタンをグリックすると、選択されたPDFの削除を実 またせずに選択解除
L					
					©Alpha Associate Inc. 2012

評価項目の種類を選択すると、その下のリストに、その評価項目のツリー状のリストが 読み込まれます。 ③ 次に、リスト上で、削除する詳細説明PDFを紐付けしている評価項目を選択しま す。CtrlキーまたはShiftキーとともにクリックすれば、複数の項目を選択すること ができます。 ここでは「F1-2-2 耐震安全性」「F1-2-3 耐風安全性」の2つを選んで削除してみ ます。

	このサイトについて	複数建物統計	評価項目管理	データ管理	
詳細説明用PDF削除実行。 評価入力に際し、評価項目の のPDFファイルの削除を行う	<b>ページ</b> の詳しい内容と選択肢の意 ページです。	味は、説明用のPDFJ	ファイルにて評価者にま	表示されます。。このペーミ	ジは、既に登録されている、不要になった詳細説明
PDF削师余					
削除する詳細説明用PDF ストに表示されます。削り	ファイルが紐付けられてい 統f象PDFが紐付けられて	るセッションを選択し、 いる評価項目を選択し	その後対象とする評価 、削除の実行ボタンを	i項目の種類をその下のラ クリックすることで、PDFt	ジオボタンで選択すると、対象評価項目が一覧リ が削除されます。
細付け先セッションの選択 サンブル評価データコ	R。 Iビーテスト用	×	註:デフォルト すれば、その 標準としてアッ ファイルを削り	では、現在の対象セッショ セッションだけで使用され パロード」を選択すれば、 約対象とします。	にが選択されています。特定のセッションを指定 ているPDFファイルを削除対象とします。「団体 全てのセッションで共通に使用されているPDF
◎ FM基盤(インフラ)用	評価項目 💿 ファシリティ	建物)用評価項目	削除対象のP	DFファイルが紐付けられ	ている評価項目の種類を選択します。
削除対象PDF評価項目; · · · 2 集 · · · 3 集 · · F1-2 建物口 · · · F1-2·1 · · · 1 者 · · 2 集	選択用リスト 系急時の避難および数地/ 攻地周辺の危険物との距離 サマティー 構造体の安全性 転導の構造的安全性の確認 軟時床荷重に対する安全!	Nのアクセス性 種 認 生の確認	<ul> <li>上記の指定に</li> <li>が表示されて</li> <li>リックして選訪</li> <li>項目を選択で</li> </ul>	基づき、左のリストに、対 いる評価項目にPDFが登 してください。Ctrlキーお さます。	象評価項目がツリー状に表示されています。◆印 録されています。PDFを削除する評価項目をク とはShiftキーを押しなからクリックすると、複数の
· · · · · · · · · · · · · · · · ·	■震安全性 構造体の耐震安全性 建物付属設備の耐震対策 家具の耐震対策の妥当性 H構の耐震対策の妥当性 →耐風安全性 構造体の耐風安全性	の妥当性	リスト上で選邦行します。	花行い、PDF削除実行す	ペタンをグリックすると、選択されたPDFの削除を実
	重物付届設備,外構不耐風	安全性		PDF削除室行	実行せずに選択解除

④ 削除を実行します。「PDF削除実行」ボタンをクリックします。

註:選択したセッションに既存のPDFがある場合は、評価項目リストの紐付けPDF がある評価項目の名前の先頭に、◆印が表示されます。

	~	上記の指定に基づき、左のリストに、対象評価項目がソリー状に表示されています。◆印
· · · · /3 較地層初の各階級との距離	1	が抜示されている評価項目にビレビが登録されています。ビレビを削除する評価項目をグ
· · F1.2 建物の安分性		リックして選択してください。CtrlキーまたはShiftキーを押しながらクリックすると、複数の
· · · F1-2-1		項目を躍択できます。
1 基礎の構造的安全性の確認		
2 常時床積重に対する安全性の確認		
2 市时小问至IC/19/000至IC/00mBC		
· · · · 1 構造体の耐雪安全性		
2 建物仕屋設備の耐雪対策の采当性		
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		リスト上で選択を行い、PDF削除実行ボタンを切りかすると、選択されたPDFの削除を実
<ul> <li>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>		
· · · F1-2-3▲耐圖完全性		11049.0
1 構造体の耐風安全性		
2 建物付属設備・外構の耐風安全性		PDF 別所実行 実行せずに選択解除
	-	

⑤ 数秒で削除が実行され、結果のコメントが表示されます。また、項目リスト上の対象項目の名称表示から◆印が消えました。

	計曲項日官理 アーダ管理
は構設明用PDF制作実行ページ 2個のPDFファイルを得多化ました。 中価人力に際し、評価な目の詳しい内容と選択肢の意味は、説明用のPDFフ PDFファイルの制修を行うペーンです。	ケイルにて評価和に表示されます。。このページは、既に登録されている、不要になった詳細説明月
PDF創除	
削除する詳細説明用PDFファイルが紐付けられているセッシェーを選択し、 ストに表示されます。創除対象PDFが紐付けられている評価項目を選択し	その後対象とする評価項目の種類をその下のラジオボタンで選択すると、対象評価項目が一覧り 、削除の実行ボタンをクリックすることで、PDFが削除されます。
細付が先セッションの選択。 サンブル評価データコピーテスト用・	註:デフォルトでは、現在の対象セッションが選択されています。特定のセッションを指定 すれば、そのセッシュンだけで使用されているFDBワァイルを削除対象とします。「団体 標準としてアップロード」を選択すれば、全てのセッションで共通に使用されているPDF ファイルを削除対象とします。
◎ FM基盤(インフラ)用評価項目 <li>◎ ファシリティ(建物)用評価項目</li>	削除対象のPDFファイルが紹行けられている評価項目の種類を選択します。
削除対象PDF評価項目選択用リスト	
	▲ 上記の指定に基づき、左のリストに、対象評価項目がツリー状に表示されています。◆印 が表示されている評価項目にPDFが登録されています。PDFを制除する評価項目をク リックして選択してください。CtiFF・またはStaffキーを押しえからクリックすると、複数の 項目を選択できます。
	リスト上で選択を行い、PDF輸除実行ボタンをグリックすると、選択されたPDFの削除を実行します。

⑥ 実際に削除されたかどうか、チェックしてみましょう。 評価トップページに戻り、"建物参照・入力"ボタンをクリックします。表示されたファシリティ評価画面の左側の項目ツリーで「F1-2-3 耐風安全性」を選択し、右側に評価欄を表示します。上部の"評価詳細"リンクをクリックしてみてください。別ページが開き、アップロードしたPDFが削除され、標準のPDF(青い「風対策」という文字がない)を参照していることがわかります。



管理者のみが使用できるFM評価システムの機能のうち、評価項目管理機能をご説明いたし ました。標準で付属しているJFMES11の評価項目も、時代の変化とともに変わっていきま す。また、独自の評価項目体系で評価したい場合もあります。本マニュアルにより、評価項 目のメンテナンス方法をご理解いただけたことと存じます。実際に管理業務でご活用いただ ければ幸いでございます。

なお、データ管理に関しては、管理者マニュアルデータ管理編をご参照ください。

FM評価システム開発チーム 一同